

令和5年における神奈川県自殺者の状況

(警察庁の自殺統計を基に作成)

1	自殺者数・自殺死亡率の推移	1
2	令和5年自殺者の状況	2
(1)	男女別の状況	2
(2)	年齢階級別の状況	3
(3)	職業別の状況	8
(4)	原因・動機別の状況	10
(5)	自殺未遂歴の状況	12
3	詳細データ	14
(1)	月別の状況	14
(2)	男女別・年齢階級別・月別自殺者数の状況	16
(3)	曜日別の状況	18
(4)	年齢階級別自殺死亡率の状況	19
(5)	男女別・年齢階級別・自殺の手段別の状況	20
(6)	男女別・年齢階級別・自殺の場所別の状況	21
(7)	年齢階級別、職業別の状況	22
(8)	年齢階級別、原因・動機別の状況	24
(9)	職業別、原因・動機別の状況	26
(10)	原因・動機別内訳	28
(11)	年齢階級別、自殺未遂歴の状況	29
(12)	同居人の状況	29

1 自殺者数・自殺死亡率の推移

本県の自殺者数は、平成19年から23年にかけて、1,800人台で推移していたが、平成24年以降は減少傾向となった。令和元年は1,076人と平成10年以降で最少となったが、令和2年は1,269人と増加に転じ、令和3年は若干減少したものの、令和5年は令和4年より29人増加して1,366人となった。

自殺死亡率は、平成24年以降減少傾向となり、令和元年は11.7と平成9年以降で最少となったが、令和2年は2.0ポイント増加し、13.7となった。令和3年にはわずかに減少したが、令和4年より増加し、令和5年は、14.8となった。

図1-1

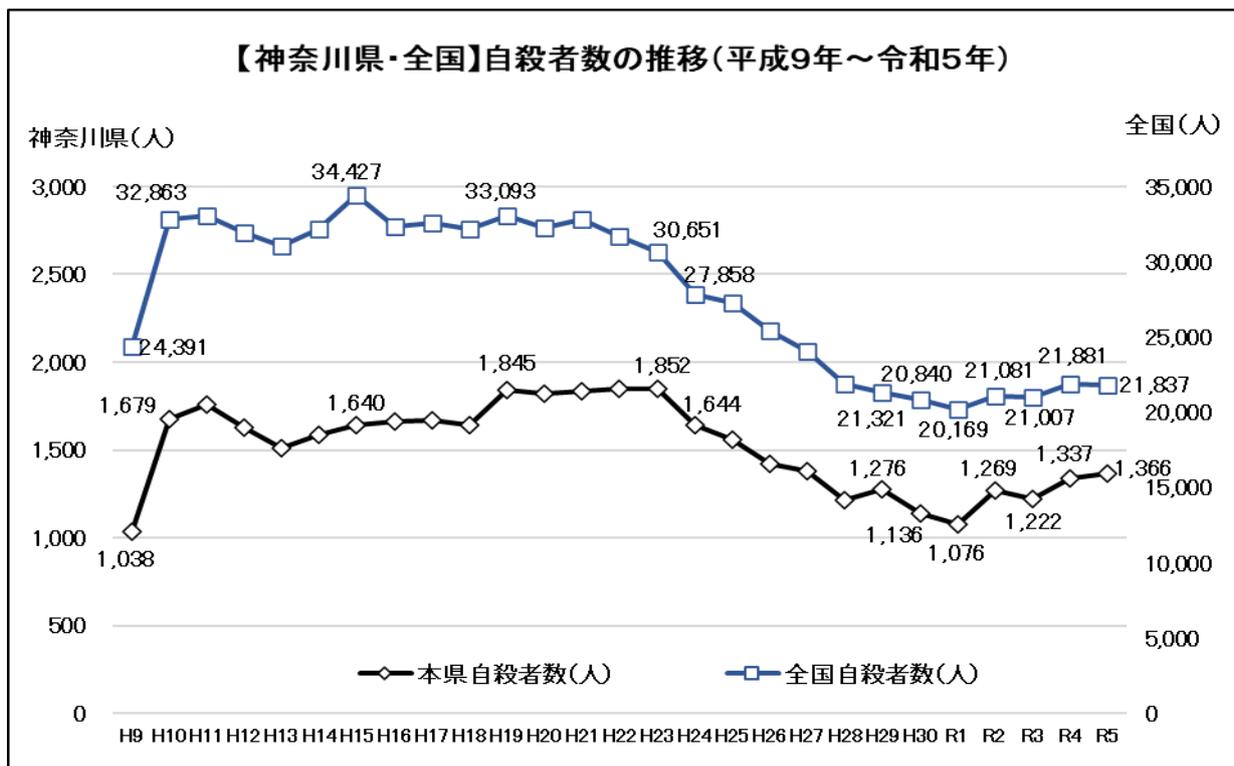
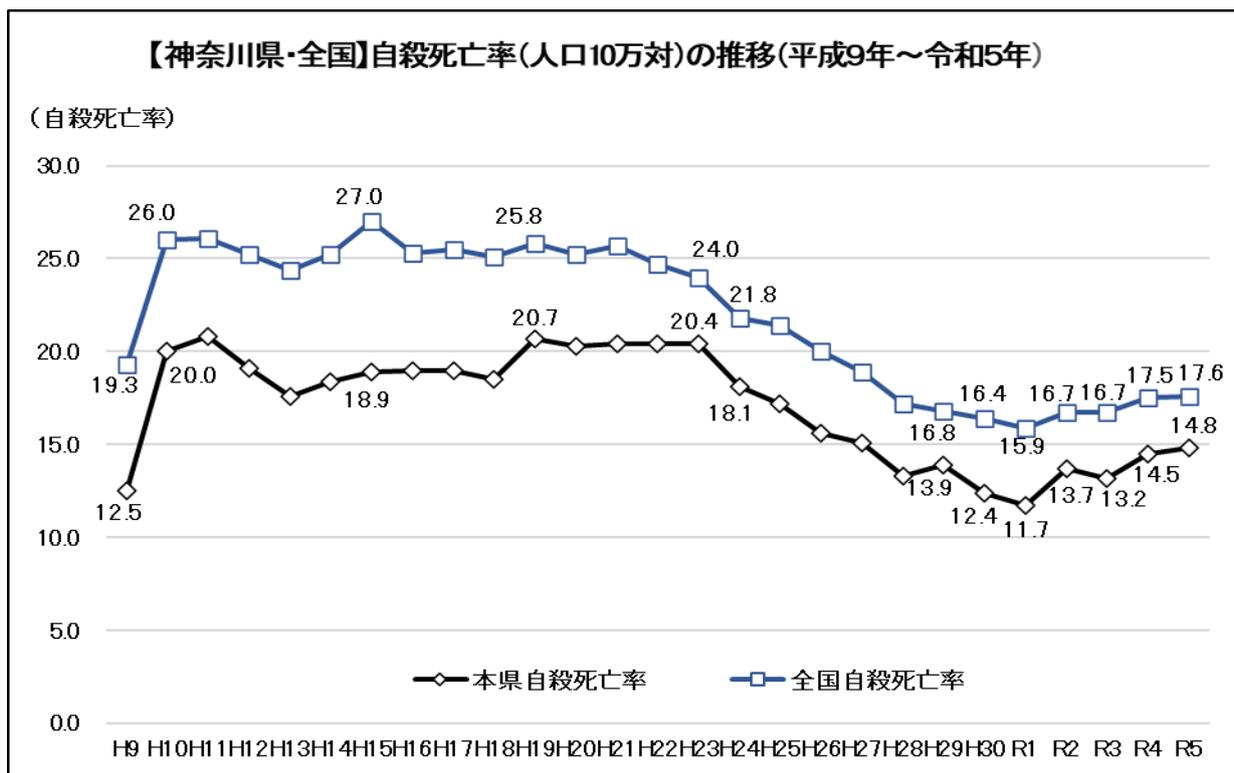


図1-2



2 令和5年自殺者の状況

(1) 男女別の状況

本県の令和5年における男女別自殺者数は、男性は前年より11人増の898人、女性は前年より18人増の468人となっている。男女別自殺者の割合は、ほぼ男性が7割、女性が3割で推移しているが、令和2年は、男性が63.9%、女性が36.1%で、女性の割合が36%を超えた。令和5年は、全国では女性の自殺者数が減少しているが、神奈川県では増加しており、高止まりの状態である。

図2-1

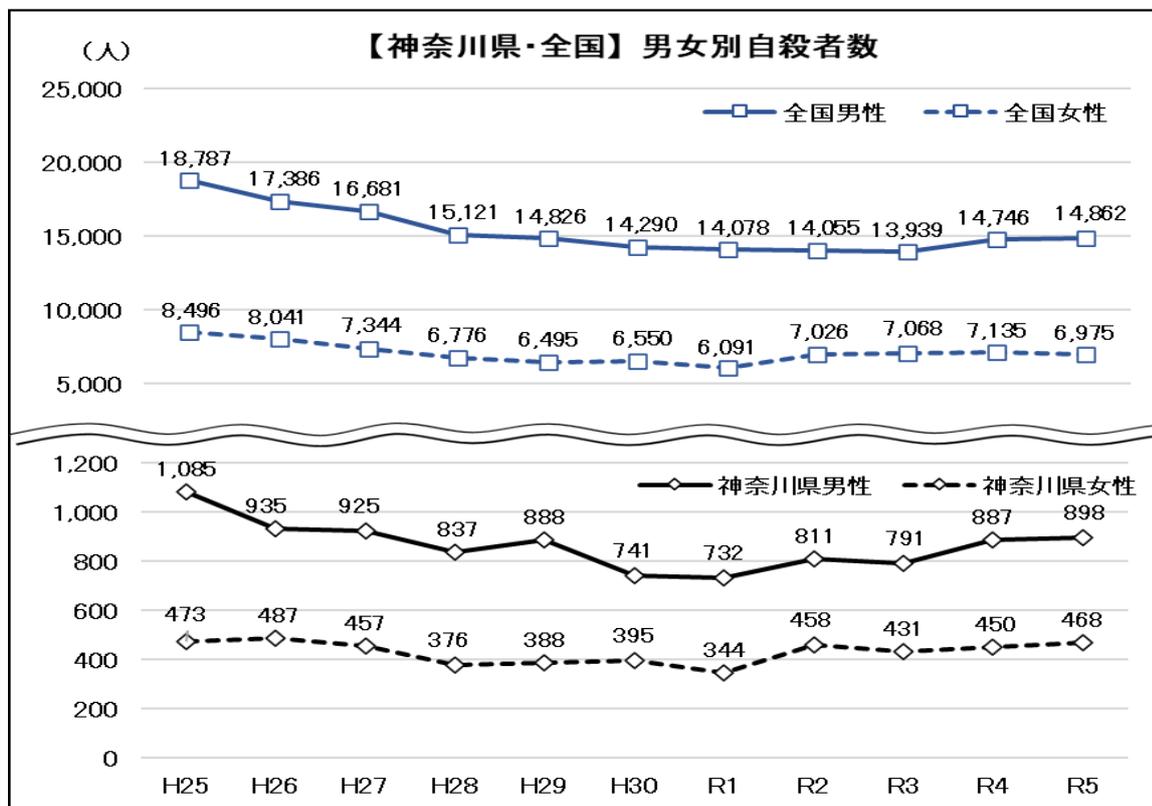
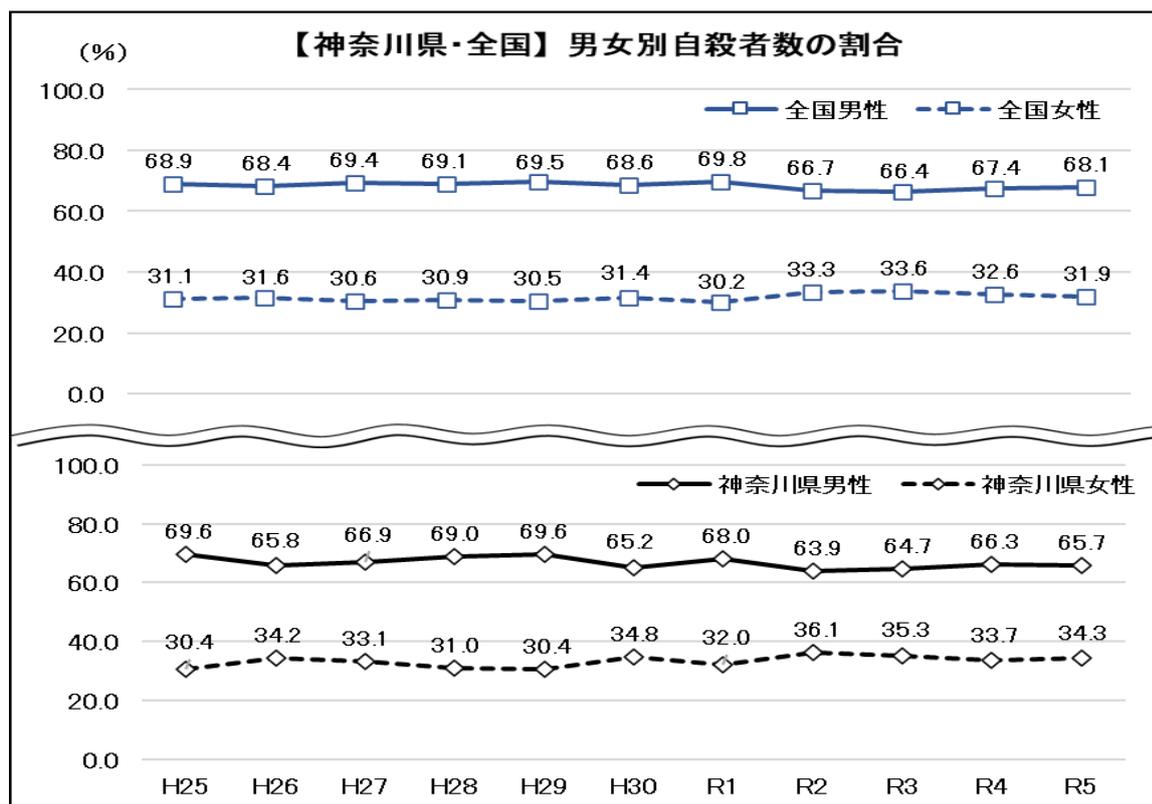


図2-2



(2) 年齢階級別の状況

本県の令和5年における年齢階級別の自殺者割合は、50歳代が最も多く、次いで40歳代、30歳代及び20歳代の順となっている。

なお、全国と比較して、本県は20歳代から50歳代の割合が多い。自殺者数の前年比較では30歳代、50歳代が大きく増加。自殺者数の割合は多いが、20代、40歳代は前年に比べ減少した。男女別でみると、男性は30歳代、50歳代が大きく増加、女性は、50歳代が減少したのに対し、他の年代が増加していた。20歳未満については、減少したものの、30歳代までの若年層の自殺者は高止まっており、令和5年は、過去10年間で一番多くなっている。

図2-3

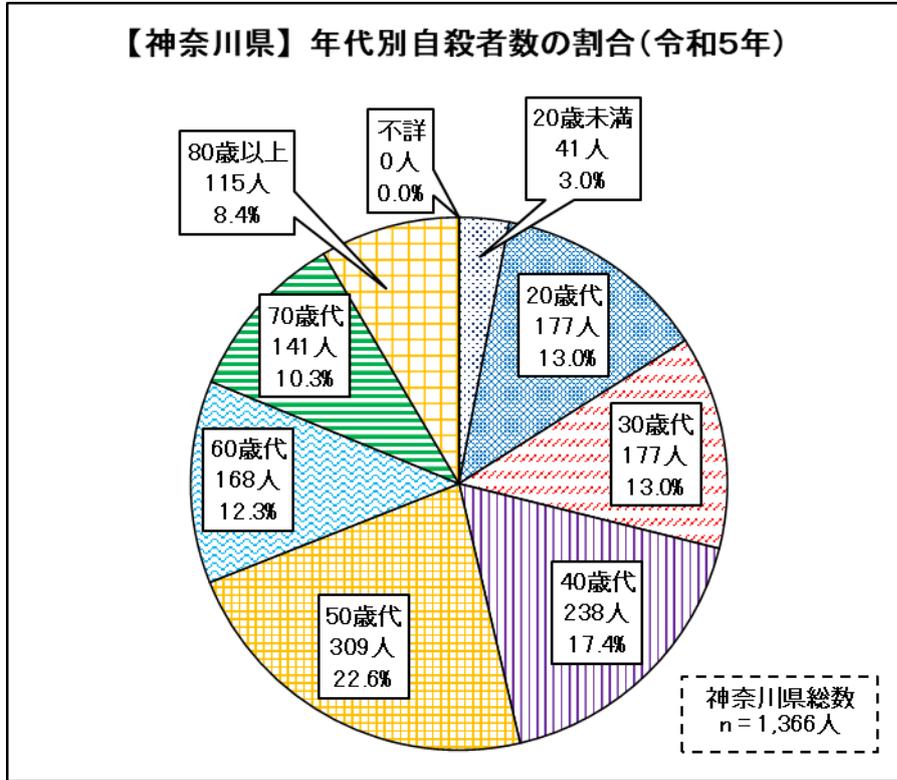


図2-4

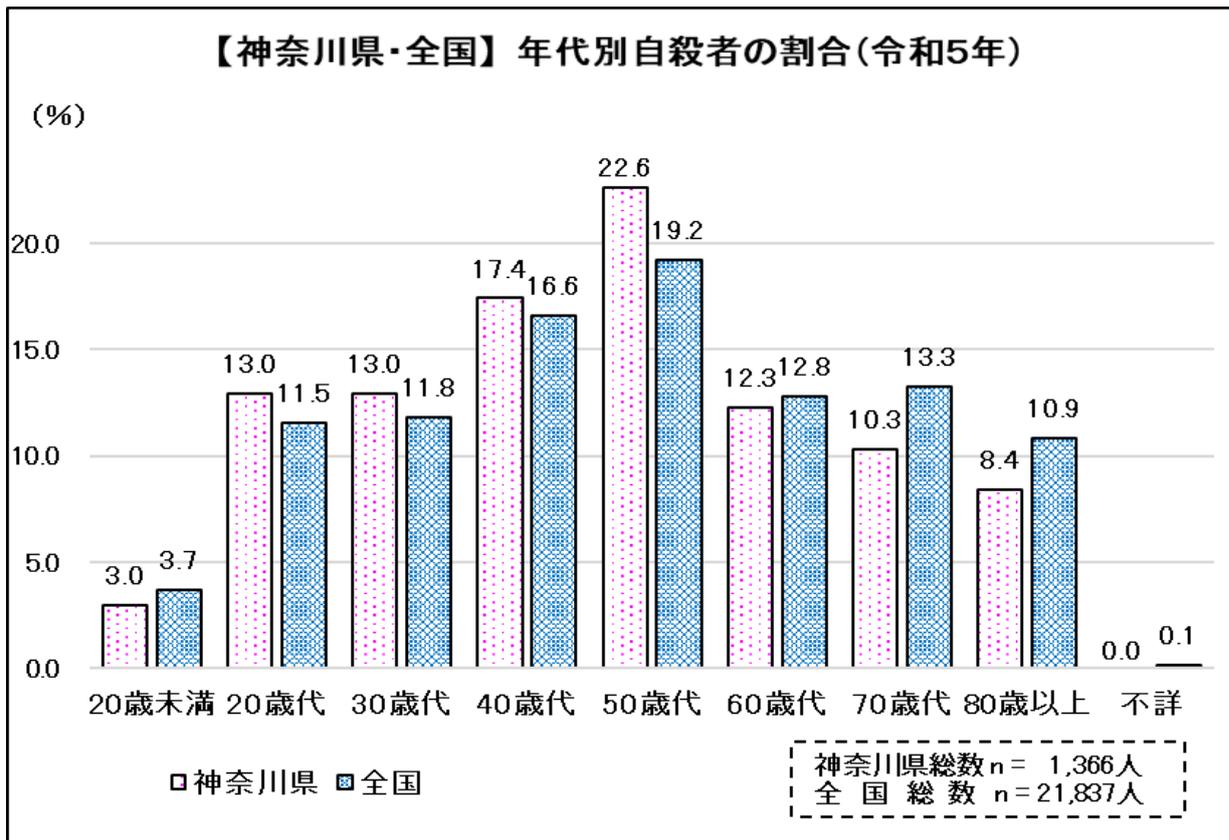
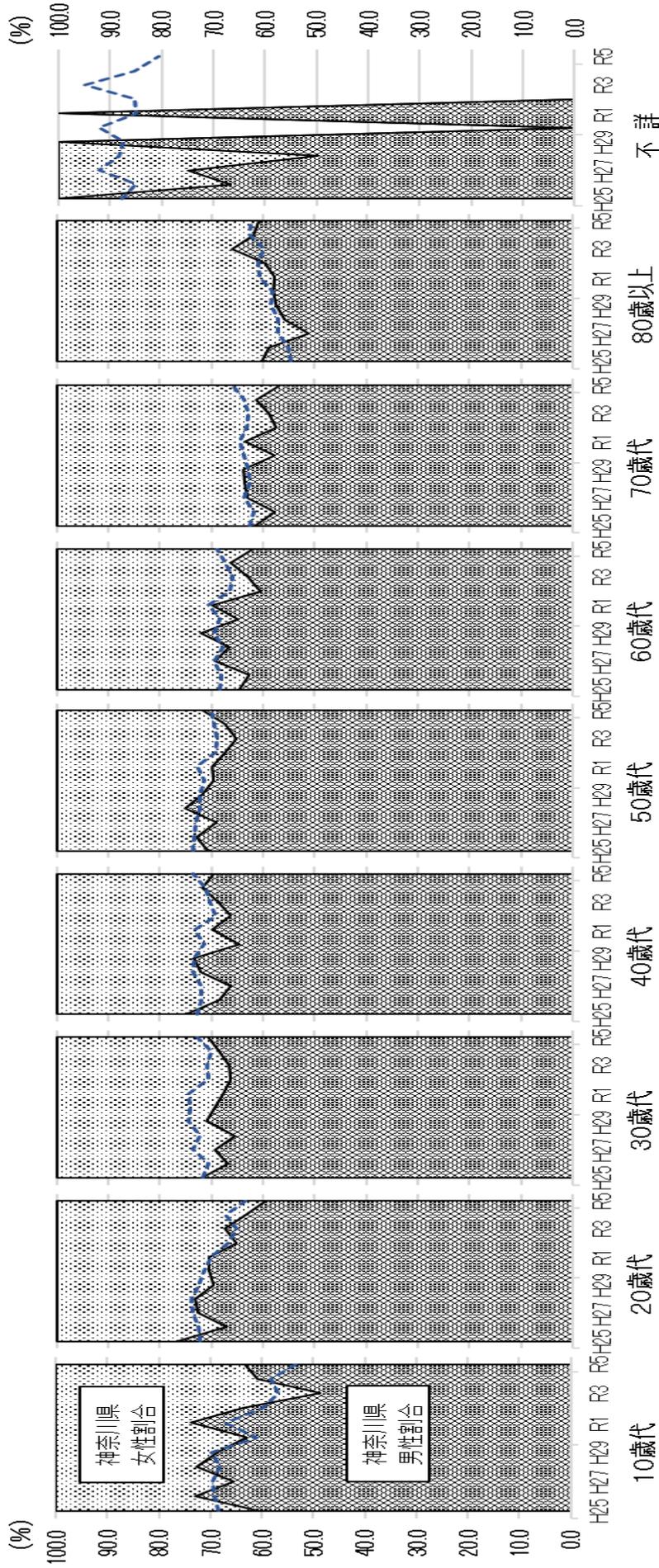


図2—5

【神奈川県・全国】年代別×男女別 自殺者の割合(経年データ)



※本グラフは、神奈川県男女別割合を面積比で表した上に、全国の男女別割合を表すライン(折れ線グラフ)を重ねることで神奈川県と全国の比較を行っている。

— 全国男女別割合ライン(ラインより下が男性割合、上が女性割合)

図2-6
表2-1

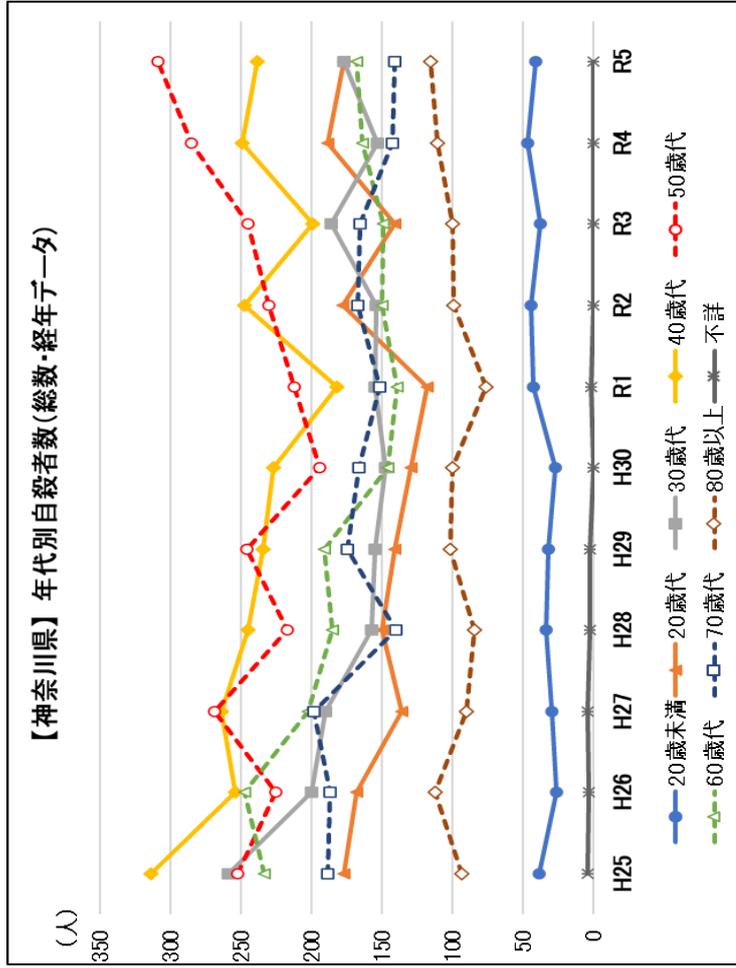
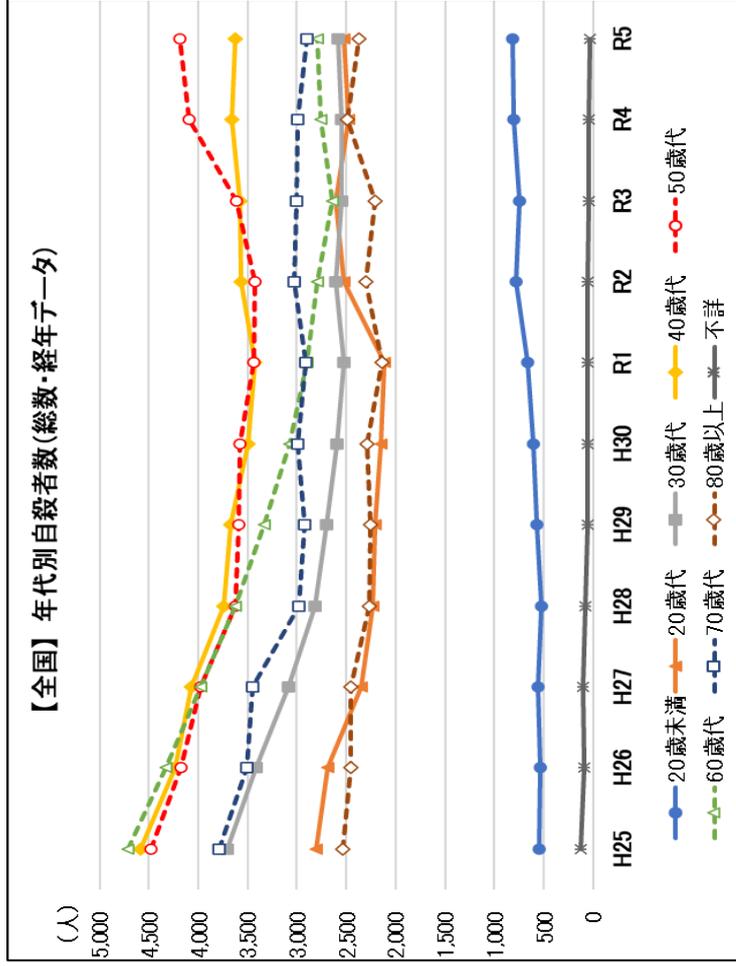


図2-7
表2-2



【神奈川県】年代別自殺者数(総数・人)

年代別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
20歳未満	38	26	29	33	32	27	42	44	37	46	41
20歳代	177	168	136	150	141	129	118	178	141	188	177
30歳代	259	200	190	157	155	147	155	154	186	153	177
40歳代	314	254	264	245	234	227	182	247	199	249	238
50歳代	252	225	269	217	246	194	212	230	245	285	309
60歳代	233	247	202	185	191	146	139	150	149	164	168
70歳代	188	187	198	140	174	166	151	167	165	142	141
80歳以上	93	112	90	84	101	100	76	99	100	110	115
不詳	4	3	4	2	2	0	1	0	0	0	0
総数	1,558	1,422	1,382	1,213	1,276	1,136	1,076	1,269	1,222	1,337	1,366

【全国】年代別自殺者数(総数・人)

年代別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
20歳未満	547	538	554	520	567	599	659	777	750	798	810
20歳代	2,801	2,684	2,352	2,235	2,213	2,152	2,117	2,521	2,611	2,483	2,521
30歳代	3,705	3,413	3,087	2,824	2,703	2,597	2,526	2,610	2,554	2,545	2,587
40歳代	4,589	4,234	4,069	3,739	3,668	3,498	3,426	3,568	3,575	3,665	3,625
50歳代	4,484	4,181	3,979	3,631	3,593	3,575	3,435	3,425	3,618	4,093	4,194
60歳代	4,716	4,325	3,973	3,626	3,339	3,079	2,902	2,795	2,637	2,765	2,798
70歳代	3,785	3,508	3,451	2,983	2,926	2,998	2,917	3,026	3,009	2,994	2,901
80歳以上	2,533	2,457	2,459	2,262	2,256	2,290	2,134	2,305	2,214	2,490	2,370
不詳	123	87	101	77	56	52	53	54	39	48	31
総数	27,283	25,427	24,025	21,897	21,321	20,840	20,169	21,081	21,007	21,881	21,837

図2-8
表2-3

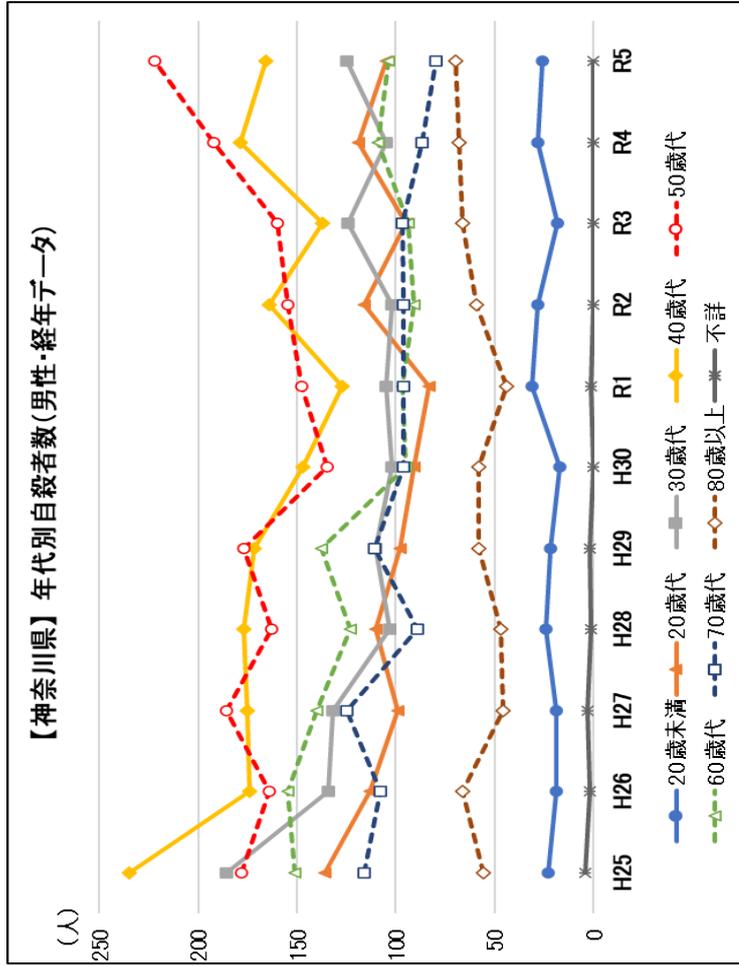
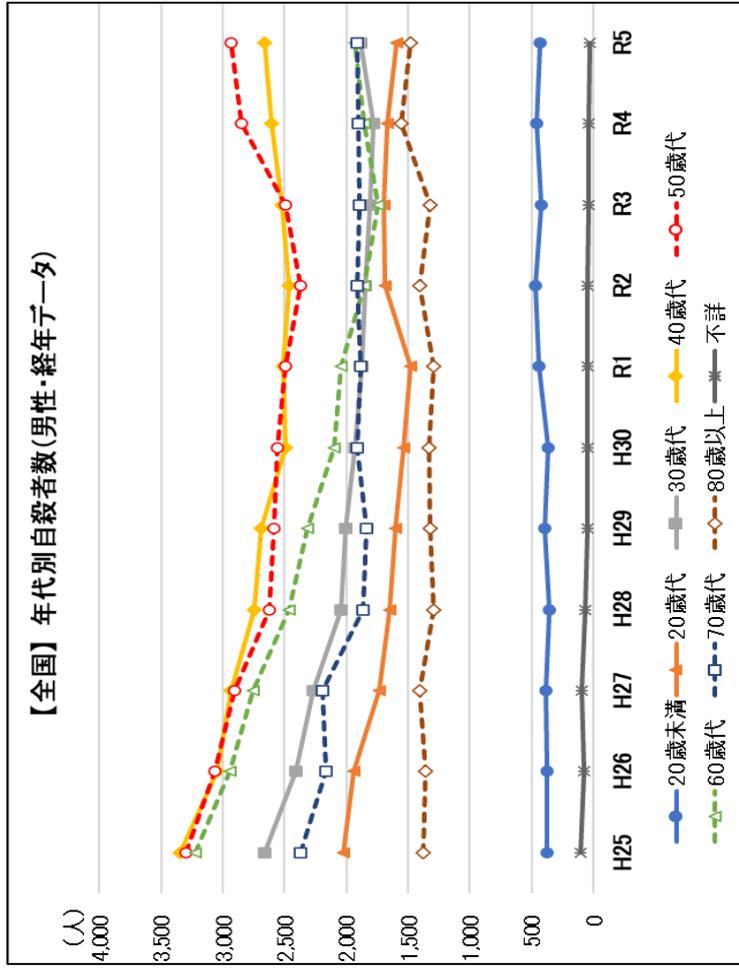


図2-9
表2-4



【神奈川県】年代別自殺者数(男性・人)

年代別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
20歳未満	23	19	19	24	22	17	31	28	18	28	26
20歳代	136	113	99	110	98	91	83	116	95	119	105
30歳代	186	134	132	103	110	102	105	102	124	105	125
40歳代	235	174	175	177	172	147	127	164	137	179	166
50歳代	178	164	186	163	177	135	148	155	160	192	222
60歳代	151	155	140	123	138	95	97	91	94	109	104
70歳代	116	108	125	89	111	96	96	96	97	87	80
80歳以上	56	66	46	47	58	58	44	59	66	68	70
不詳	4	2	3	1	2	0	1	0	0	0	0
総数	1,085	935	925	837	888	741	732	811	791	887	898

【全国】年代別自殺者数(男性・人)

年代別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
20歳未満	374	373	385	354	396	366	443	466	426	464	431
20歳代	2,024	1,945	1,731	1,652	1,607	1,538	1,483	1,684	1,699	1,672	1,599
30歳代	2,659	2,413	2,272	2,043	2,010	1,930	1,878	1,846	1,810	1,784	1,883
40歳代	3,344	3,047	2,932	2,751	2,691	2,499	2,511	2,466	2,519	2,611	2,665
50歳代	3,303	3,068	2,906	2,628	2,593	2,558	2,497	2,371	2,492	2,848	2,939
60歳代	3,224	2,942	2,759	2,463	2,319	2,103	2,045	1,859	1,741	1,862	1,931
70歳代	2,370	2,165	2,198	1,870	1,841	1,913	1,882	1,912	1,892	1,906	1,910
80歳以上	1,381	1,359	1,405	1,292	1,320	1,355	1,294	1,405	1,323	1,558	1,479
不詳	108	74	93	68	49	48	45	46	37	41	25
総数	18,787	17,386	16,681	15,121	14,826	14,290	14,078	14,055	13,939	14,746	14,862

図2-10

表2-5

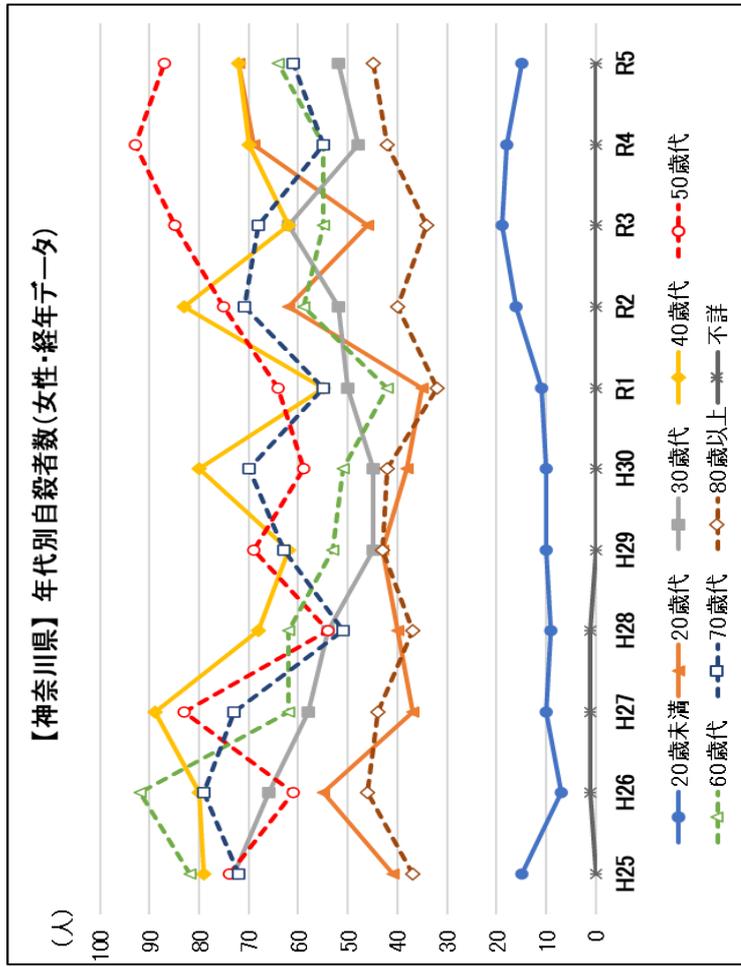
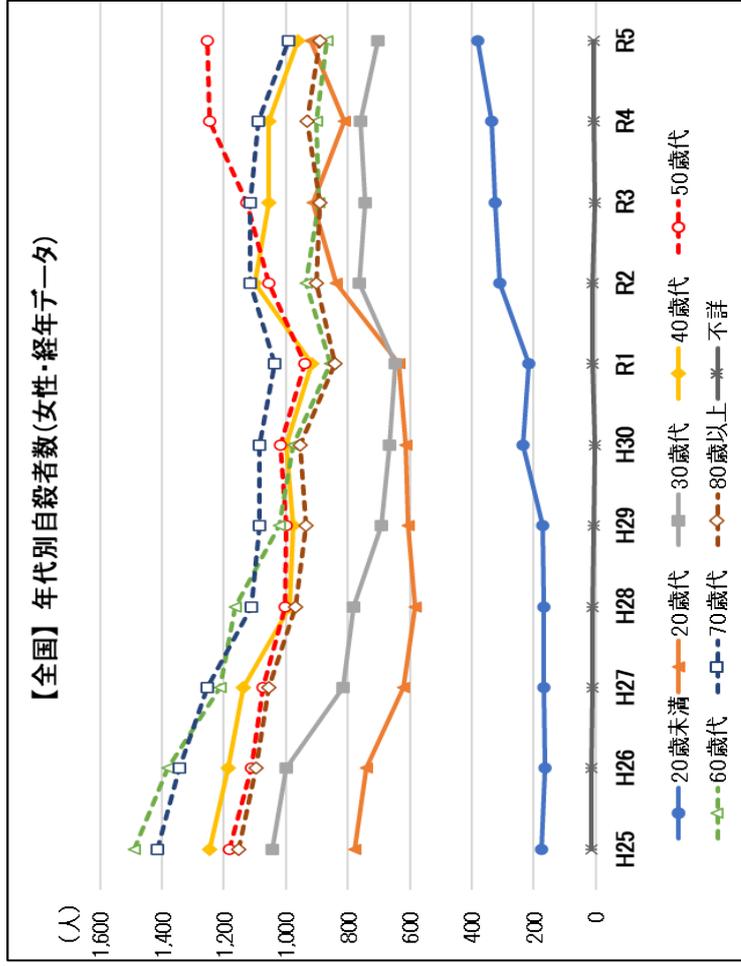


図2-11

表2-6



【神奈川県】年代別自殺者数(女性・人)

年代別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
20歳未満	15	7	10	9	10	10	11	16	19	18	15
20歳代	41	55	37	40	43	38	35	62	46	69	72
30歳代	73	66	58	54	45	45	50	52	62	48	52
40歳代	79	80	89	68	62	80	55	83	62	70	72
50歳代	74	61	63	54	69	59	64	75	85	93	87
60歳代	82	92	62	62	53	51	42	59	55	55	64
70歳代	72	79	73	51	63	70	55	71	68	55	61
80歳以上	37	46	44	37	43	42	32	40	34	42	45
不詳	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
総数	473	487	457	376	388	395	344	458	431	450	468

【全国】年代別自殺者数(女性・人)

年代別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
20歳未満	173	165	169	166	171	233	216	311	324	334	379
20歳代	777	739	621	583	606	614	634	837	912	811	922
30歳代	1,046	1,000	815	781	693	667	648	764	744	761	704
40歳代	1,245	1,187	1,137	988	977	999	915	1,102	1,056	1,054	960
50歳代	1,181	1,113	1,073	1,003	1,000	1,017	938	1,054	1,126	1,245	1,255
60歳代	1,492	1,363	1,214	1,163	1,020	976	857	936	896	903	867
70歳代	1,415	1,343	1,253	1,113	1,085	1,085	1,035	1,114	1,117	1,088	991
80歳以上	1,152	1,098	1,054	970	936	955	840	900	891	932	891
不詳	15	13	8	9	7	4	8	8	2	7	6
総数	8,496	8,041	7,344	6,776	6,495	6,550	6,091	7,026	7,068	7,135	6,975

(3) 職業別の状況

本県の令和5年における職業別の自殺者数は、学生・生徒を除く「無職者」が最も多く、前年度より84人増加し740人となっている。次いで、「有職者」が前年比22人減の527人であった。

無職内訳では、学生・生徒を除く「無職者」全体で増加しており、特に「年金・雇用保険等生活者」「その他の無職者」の自殺者数が増加している。

図2-12

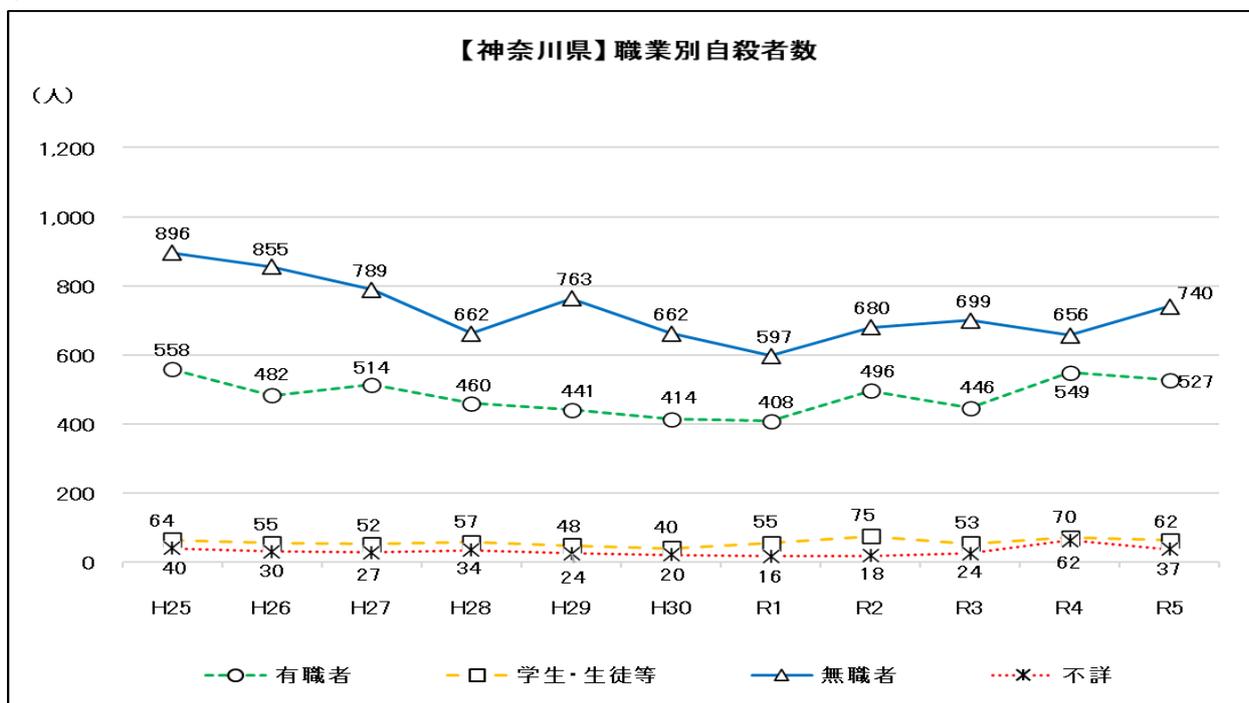
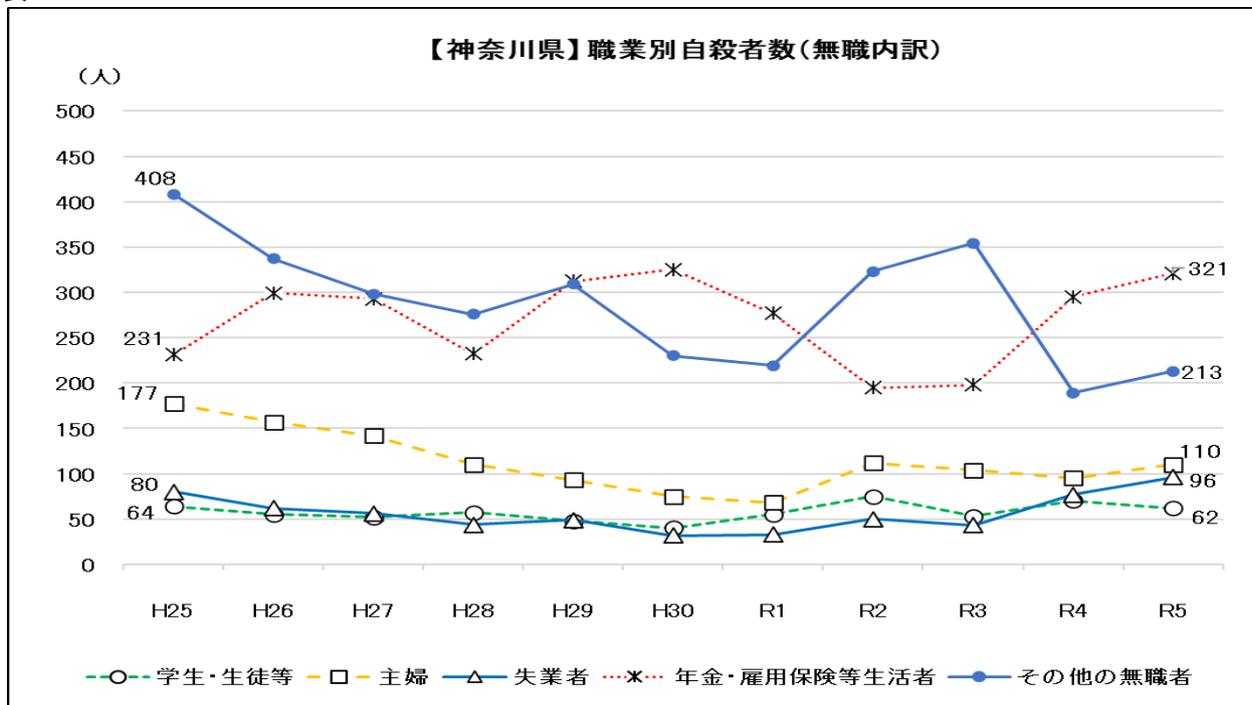


図2-13

表2-7



無職内訳	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
学生・生徒等	64	55	52	57	48	40	55	75	53	70	62	
無職者	主婦	177	157	142	110	93	75	68	112	104	95	110
	失業者	80	62	56	44	49	32	33	50	43	77	96
	年金・雇用保険等生活者	231	299	293	232	312	325	277	195	198	295	321
	その他の無職者	408	337	298	276	309	230	219	323	354	189	213
	無職者計	896	855	789	662	763	662	597	680	699	656	740
無職計	960	910	841	719	811	702	652	755	752	726	802	

図2—14

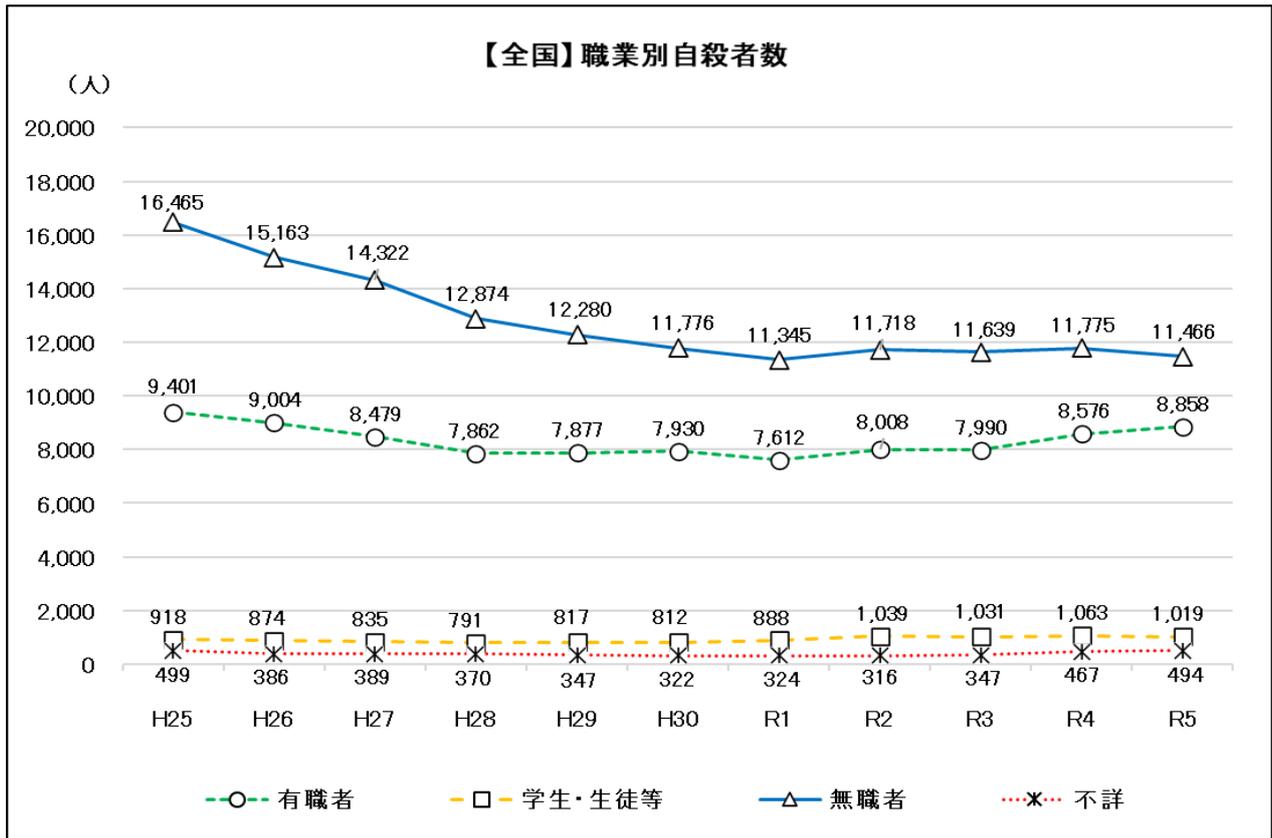
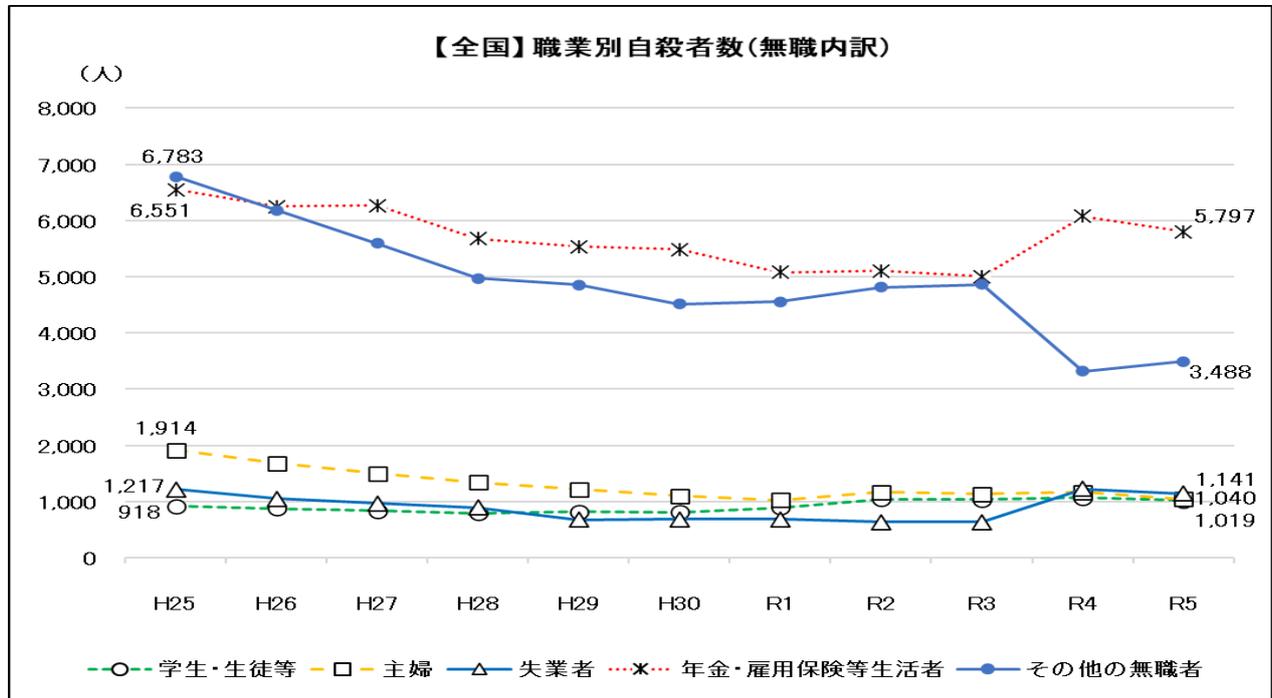


図2—15

表2—8



無職内訳		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
無職者	学生・生徒等	918	874	835	791	817	812	888	1,039	1,031	1,063	1,019
	主婦	1,914	1,680	1,498	1,340	1,215	1,095	1,025	1,168	1,136	1,166	1,040
	失業者	1,217	1,052	962	888	678	682	684	636	636	1,220	1,141
	年金・雇用保険等生活者	6,551	6,250	6,267	5,675	5,534	5,484	5,081	5,101	5,001	6,074	5,797
	その他の無職者	6,783	6,181	5,595	4,971	4,853	4,515	4,555	4,813	4,866	3,315	3,488
	無職者計	16,465	15,163	14,322	12,874	12,280	11,776	11,345	11,718	11,639	11,775	11,466
無職計		17,383	16,037	15,157	13,665	13,097	12,588	12,233	12,757	12,670	12,838	12,485

(4) 原因・動機別の状況

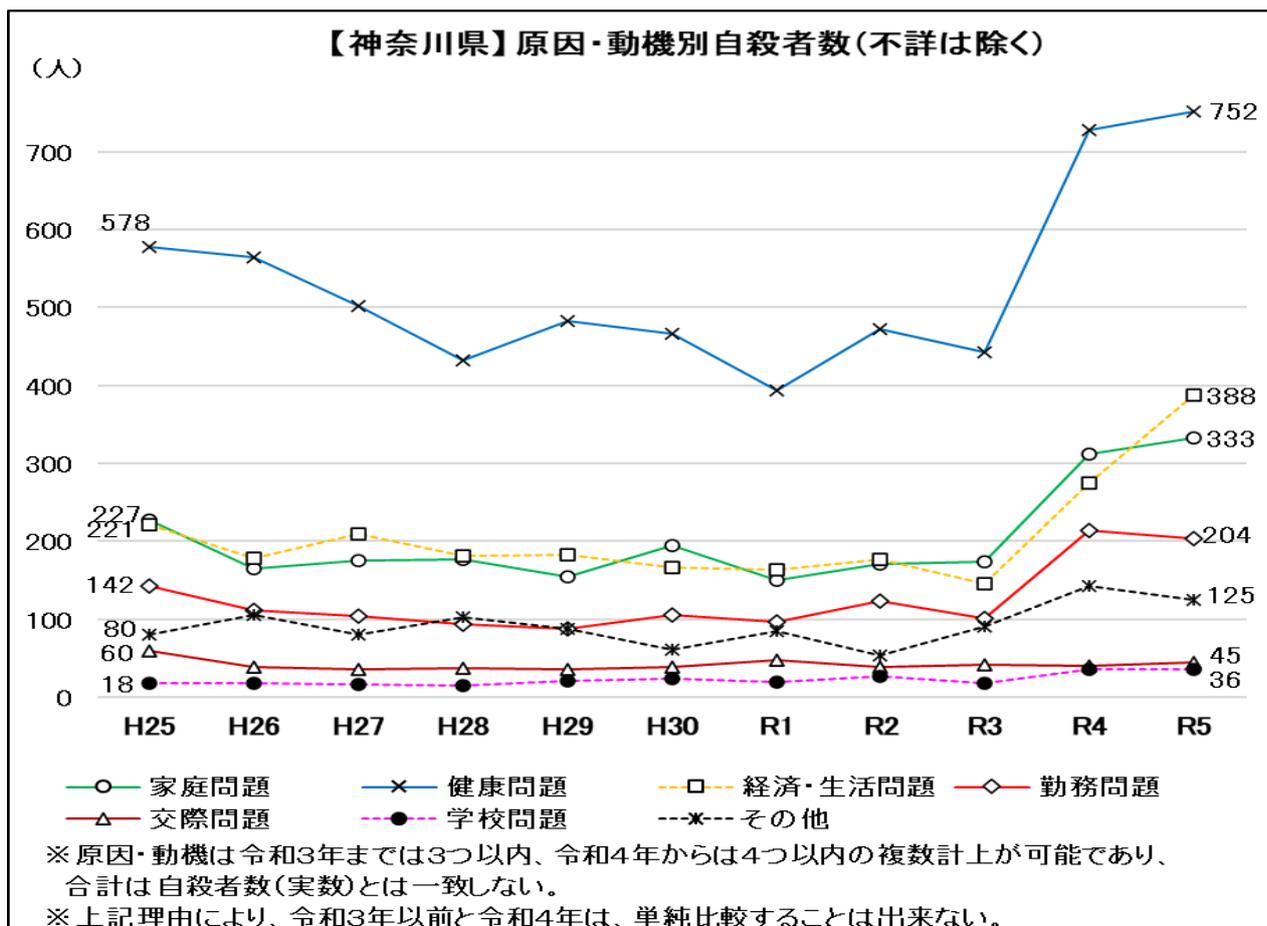
本県の令和5年の自殺者のうち、原因・動機が判明した自殺者は、「健康問題」が752人と最も多く、次いで「経済・生活問題」「家庭問題」、「勤務問題」となっている。

各年齢階級別の原因・動機別では、「健康問題」が19歳以下を除くすべての年齢階級で第1位となっており、19歳以下は「学校問題」が第1位となっている。

自殺は多様で複合的な原因・背景があり、様々な要因が絡み合う中で起きているが、20歳代、30歳代において、前年には「経済・生活問題」が上位3位まで入っていなかったが、R5年には2位に入るなど、「経済・生活問題」を原因・動機とする自殺者が増えていると思われる。

図2-16

表2-9



原因・動機別内訳	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
家庭問題	227	165	175	176	154	195	150	171	174	312	333
健康問題	578	564	502	432	483	466	394	472	443	728	752
経済・生活問題	221	178	209	181	183	166	164	177	145	274	388
勤務問題	142	111	104	94	88	106	96	123	101	214	204
交際問題	60	39	36	37	36	38	47	39	42	40	45
学校問題	18	18	17	15	21	24	20	27	18	35	36
その他	80	106	80	103	87	61	84	54	91	142	125
不詳	626	579	598	493	538	418	414	529	528	190	66
総計	1,952	1,760	1,721	1,531	1,590	1,474	1,369	1,592	1,542	1,935	1,883
自殺者数(実数)	1,558	1,422	1,382	1,213	1,276	1,136	1,076	1,269	1,222	1,337	1,366

3つ以内原因・動機 ← → 4つ以内原因・動機

表2-10

【神奈川県】令和5年における各年齢階級別の原因・動機別順位(第3位まで)と割合

年代	第1位		第2位		第3位	
	原因	割合	原因	割合	原因	割合
10歳代	学校問題	41.5%	健康問題	31.7%	家庭問題	17.1%
20歳代	健康問題	43.5%	経済・生活問題	22.6%	勤務問題	19.2%
30歳代	健康問題	46.9%	経済・生活問題	29.9%	家庭問題	24.9%
40歳代	健康問題	46.2%	経済・生活問題	29.8%	—	—
			勤務問題	29.8%		
50歳代	健康問題	49.2%	経済・生活問題	42.4%	家庭問題	25.2%
60歳代	健康問題	61.3%	経済・生活問題	35.7%	家庭問題	25.6%
70歳代	健康問題	79.4%	家庭問題	24.8%	経済・生活問題	16.3%
80歳代以上	健康問題	88.7%	家庭問題	30.4%	経済・生活問題	7.0%
					その他	7.0%
全年代	健康問題	55.1%	経済・生活問題	28.4%	家庭問題	24.4%

※ 不詳は除く。

※ 原因・動機は4つ以内の複数計上可能であり、自殺者の割合は、自殺者数(実数)を母数として、それぞれの原因・動機に該当した人数の割合を算出している。

(5) 自殺未遂歴の状況

本県の令和5年における自殺者のうち自殺未遂歴があった人は、前年より16人増加し、275人で自殺者に占める割合は20.1%となっている。また、男女別では、男性が130人(14.5%)、女性が145人(31.0%)で女性の方が人数も割合も多く、全国と比較して神奈川県女性の自殺未遂歴は高いことがわかる。

図2-17

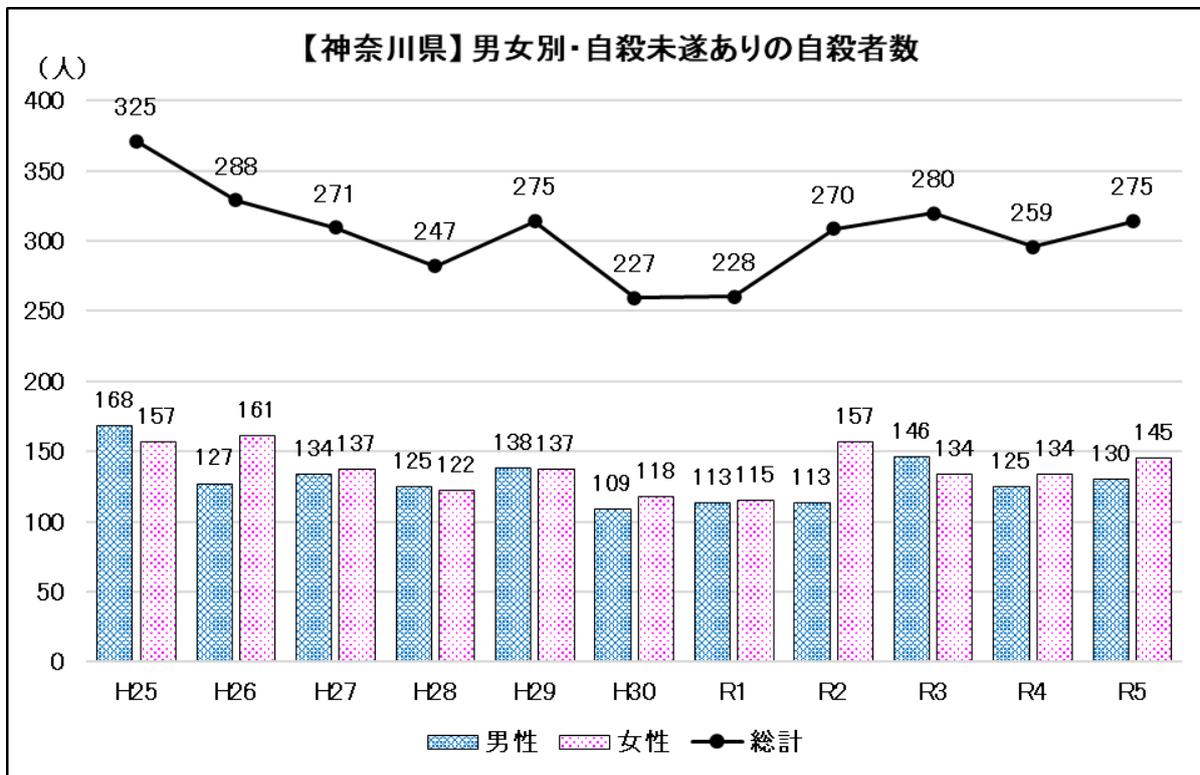


図2-18

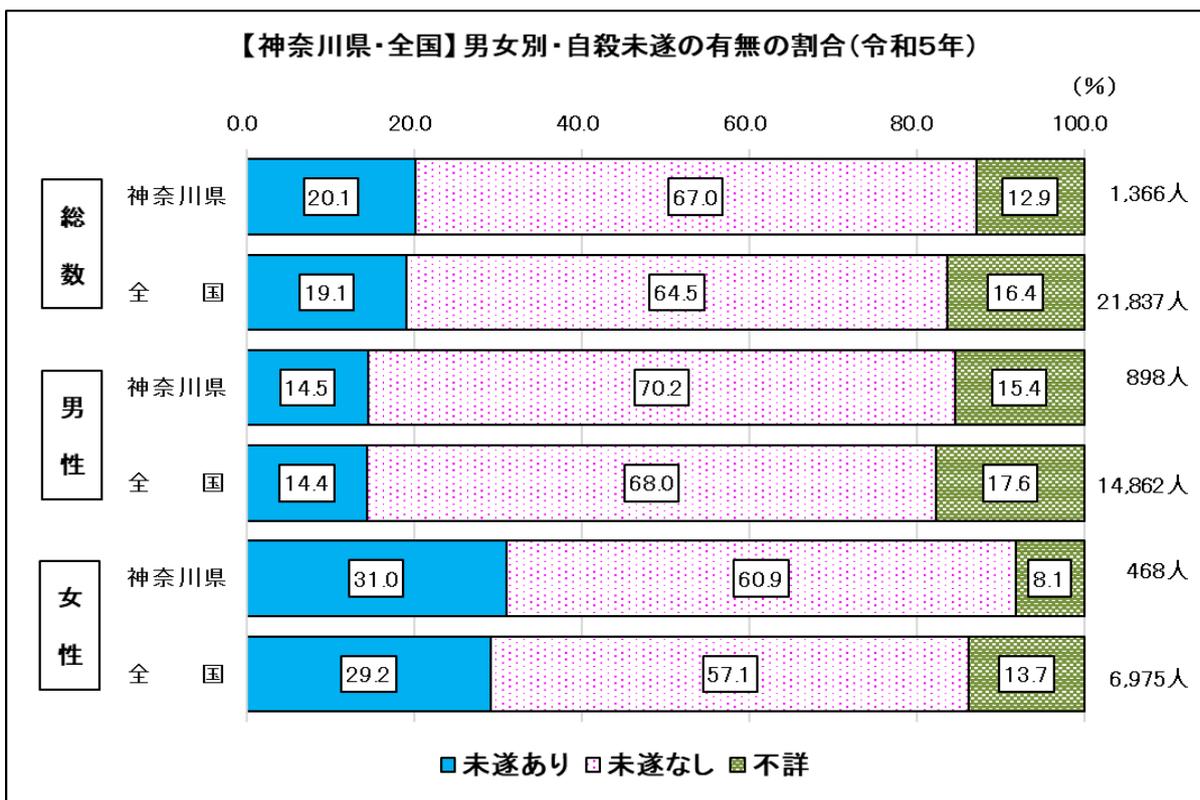
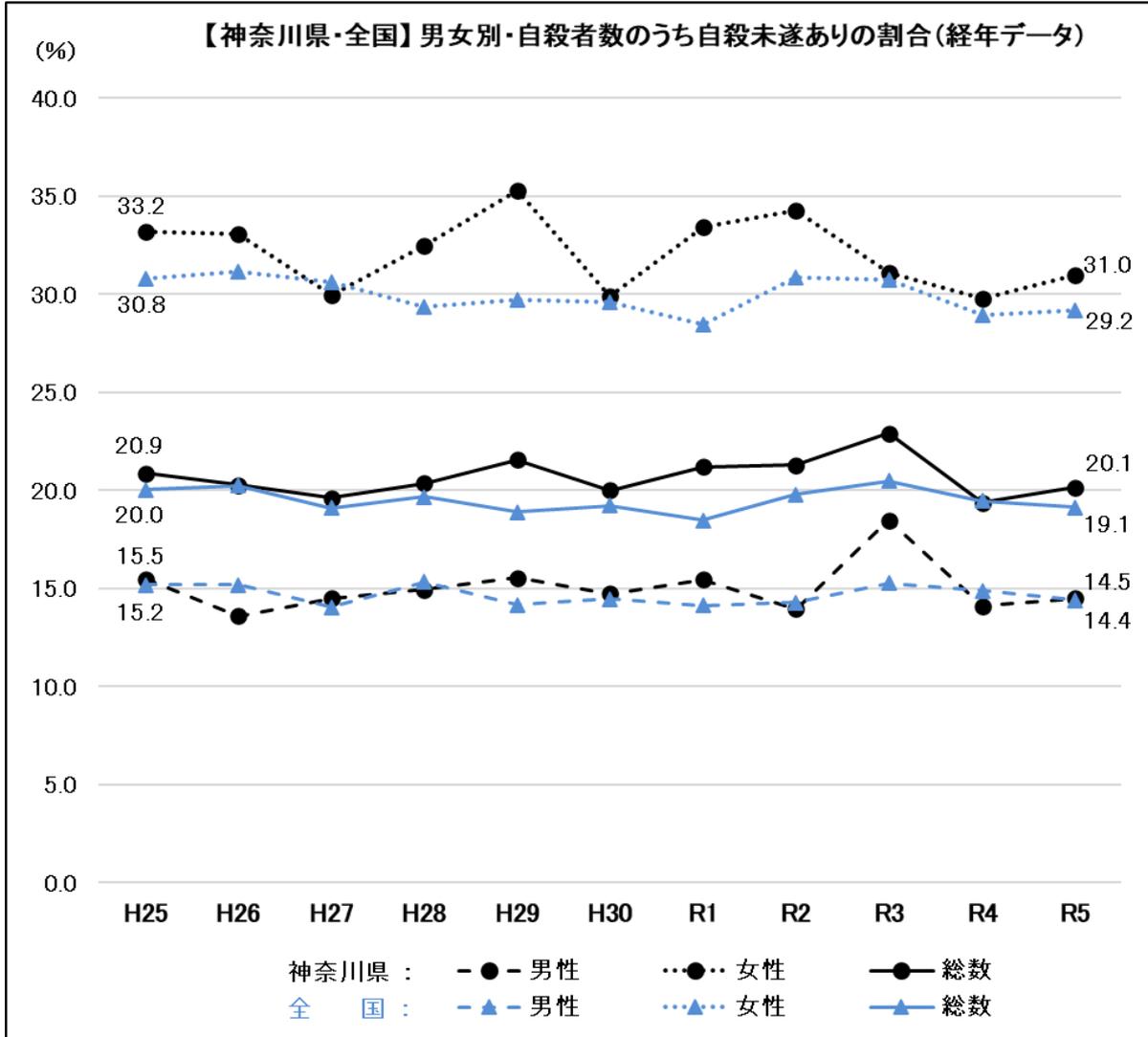


図2-19



総数(人)n:年[神奈川県/全国]

H25 [1,558/27,283] H26 [1,422/25,427] H27 [1,382/24,025] H28 [1,213/21,897]
 H29 [1,276/21,321] H30 [1,136/20,840] R 1 [1,076/20,169] R 2 [1,269/21,081]
 R 3 [1,222/21,007] R 4 [1,337/21,881] R 5 [1,366/21,837]

3 詳細データ

(1) 月別の状況

令和5年の月別の自殺者数の状況を見ると、本県は「1月」「9月」が多い。全国では「3月」から「5月」の春に自殺者が増えているが、神奈川県は大きく増えていない。全国、神奈川県ともに、「2月」「12月」は自殺者が少なくなっている。

図3-1

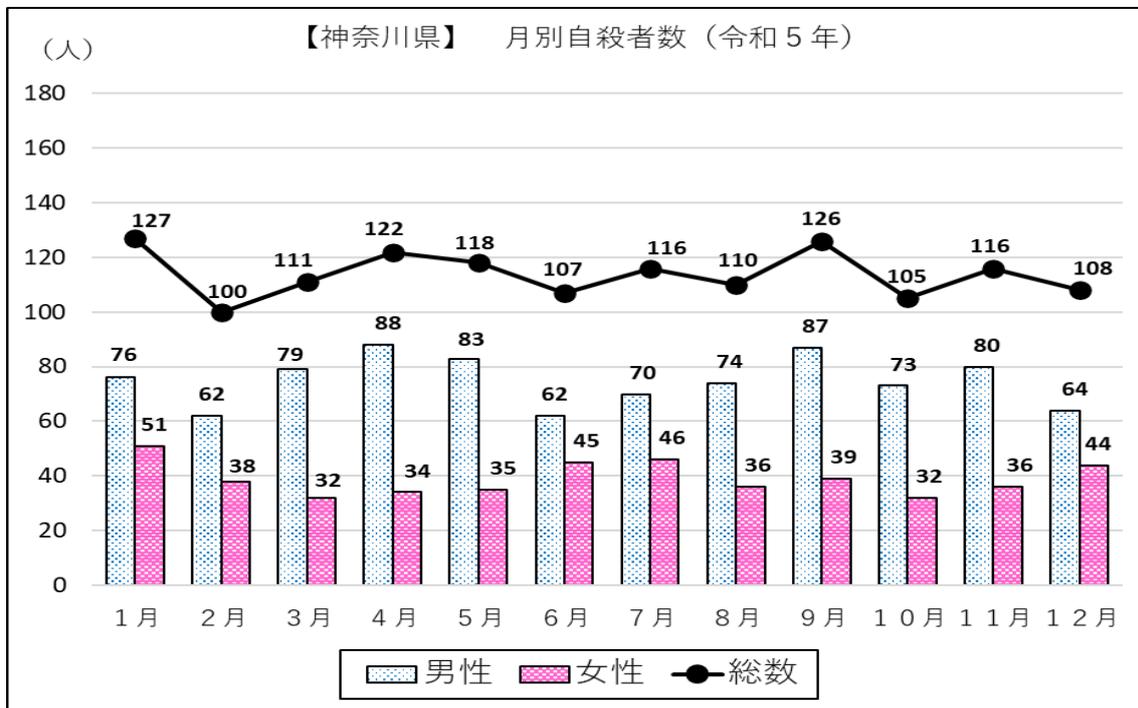
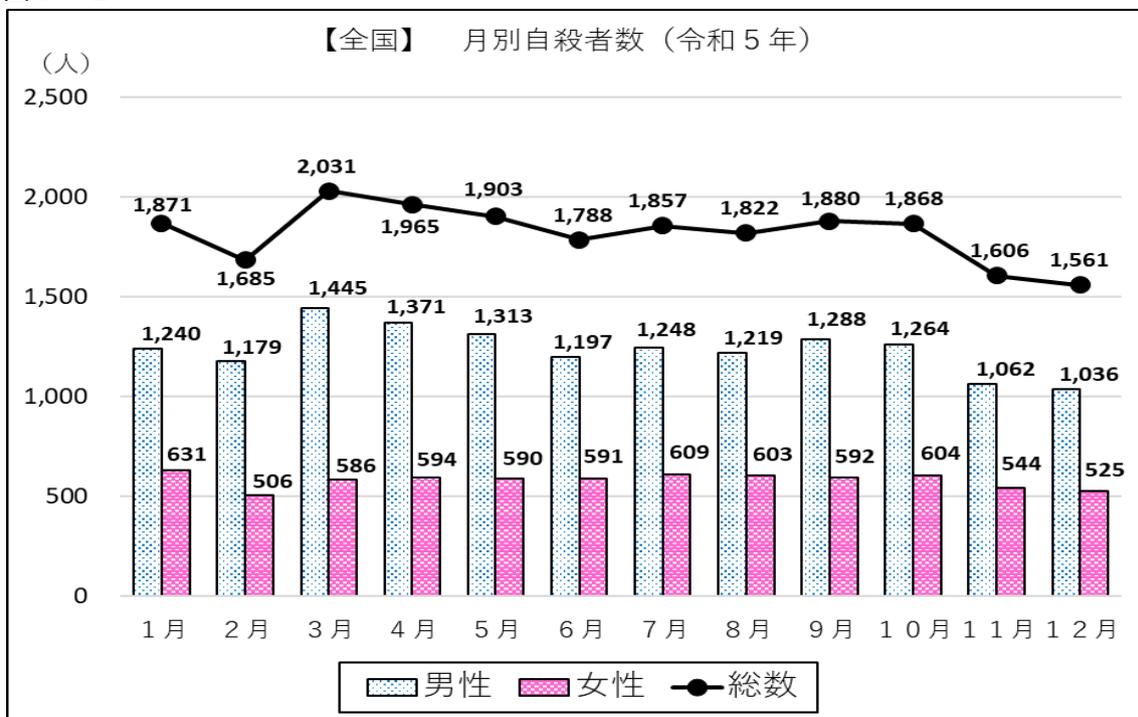
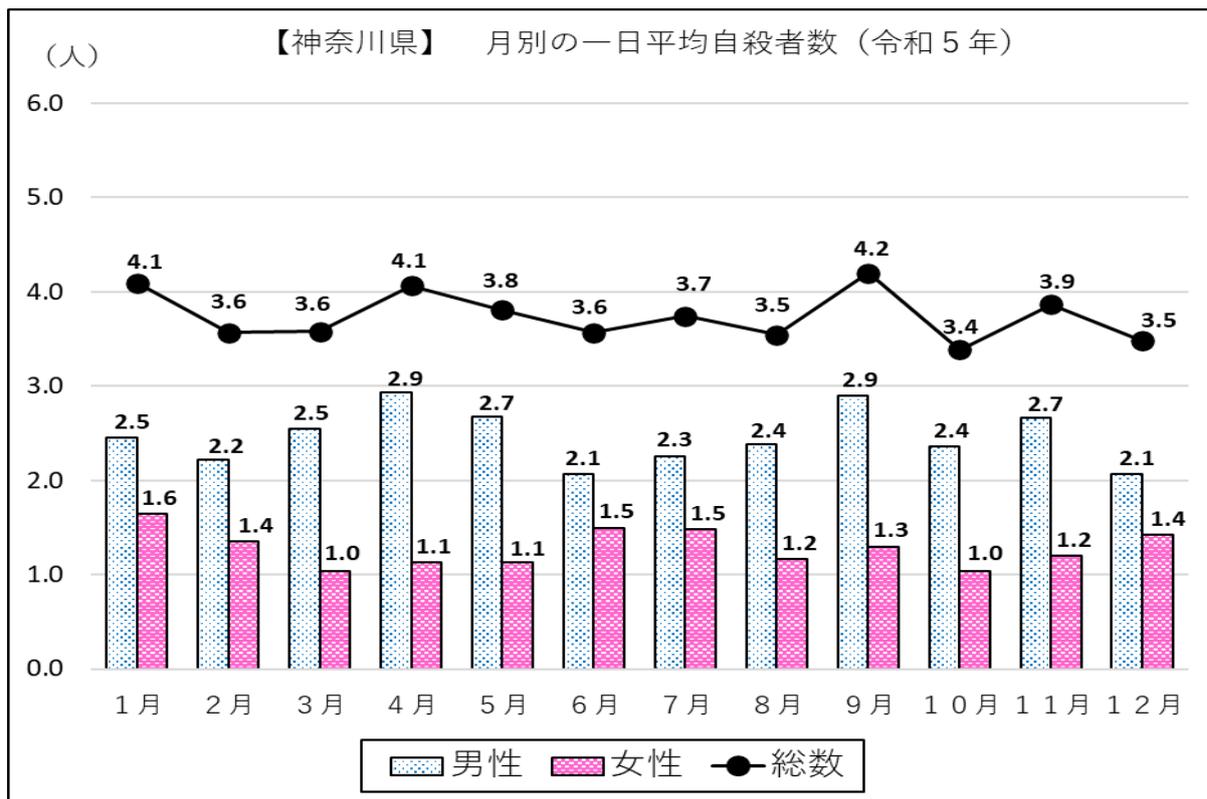


図3-2



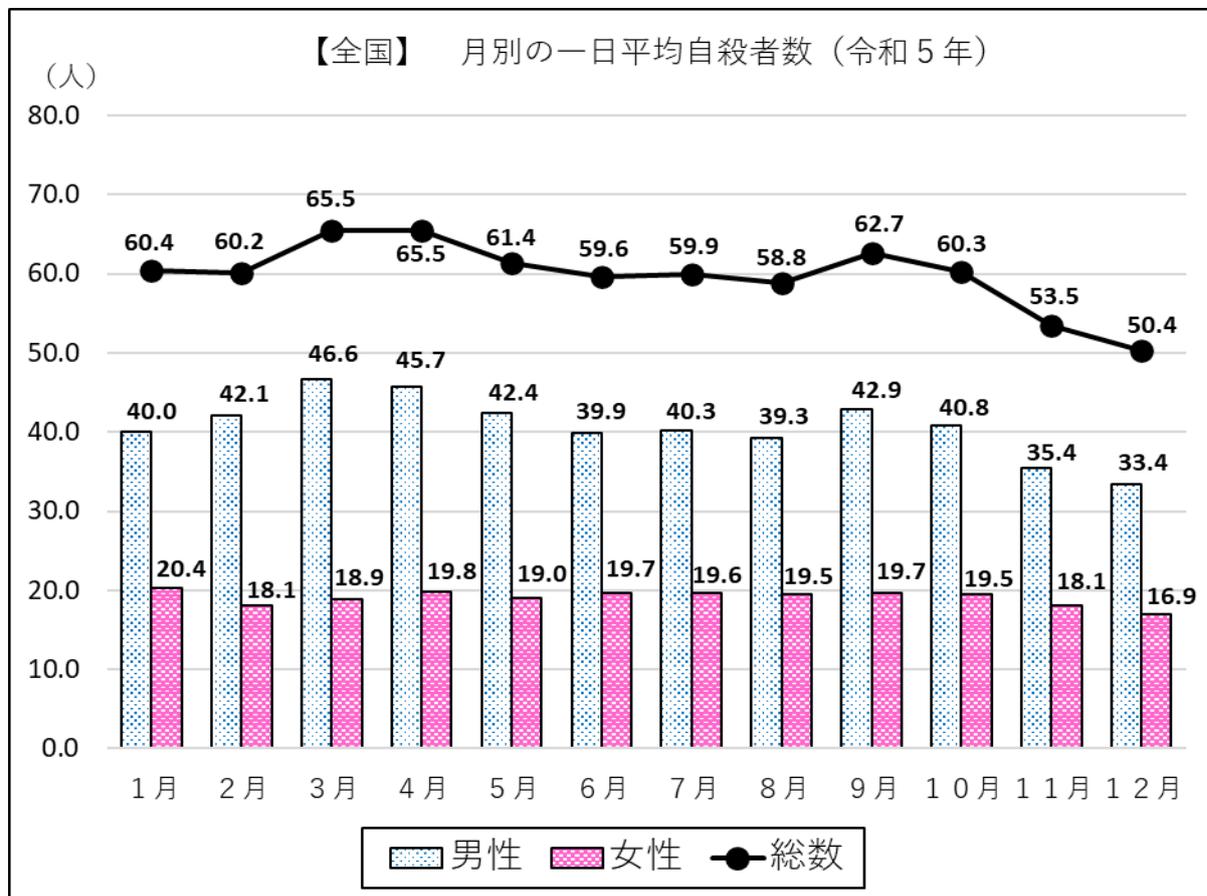
月別の一日平均自殺者数の状況を見ると、総数としては、本県は「9月」、全国では「3月」が最も多い。本県は「10月」、全国では「12月」が最も少ない。

図3-3



※各平均自殺者数は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と男女の合計が一致しない場合がある。

図3-4



(2) 男女別・年齢階級別・月別自殺者数の状況

本県の令和5年における月別自殺者数の推移をみると、男性は「4月」「9月」が多く、女性は「1月」が多い。男性は「2月」「6月」、女性は「3月」「10月」が少ない。特に男性は「10月」に30歳代、「4月」に40歳代、「11月」に50歳代が増えている。また女性は「1月」に20歳代、「8月」に40歳代が増えている。男性は、年齢階級別での月別自殺者数に大きな増減はないが、女性は増減がある。

図3-5

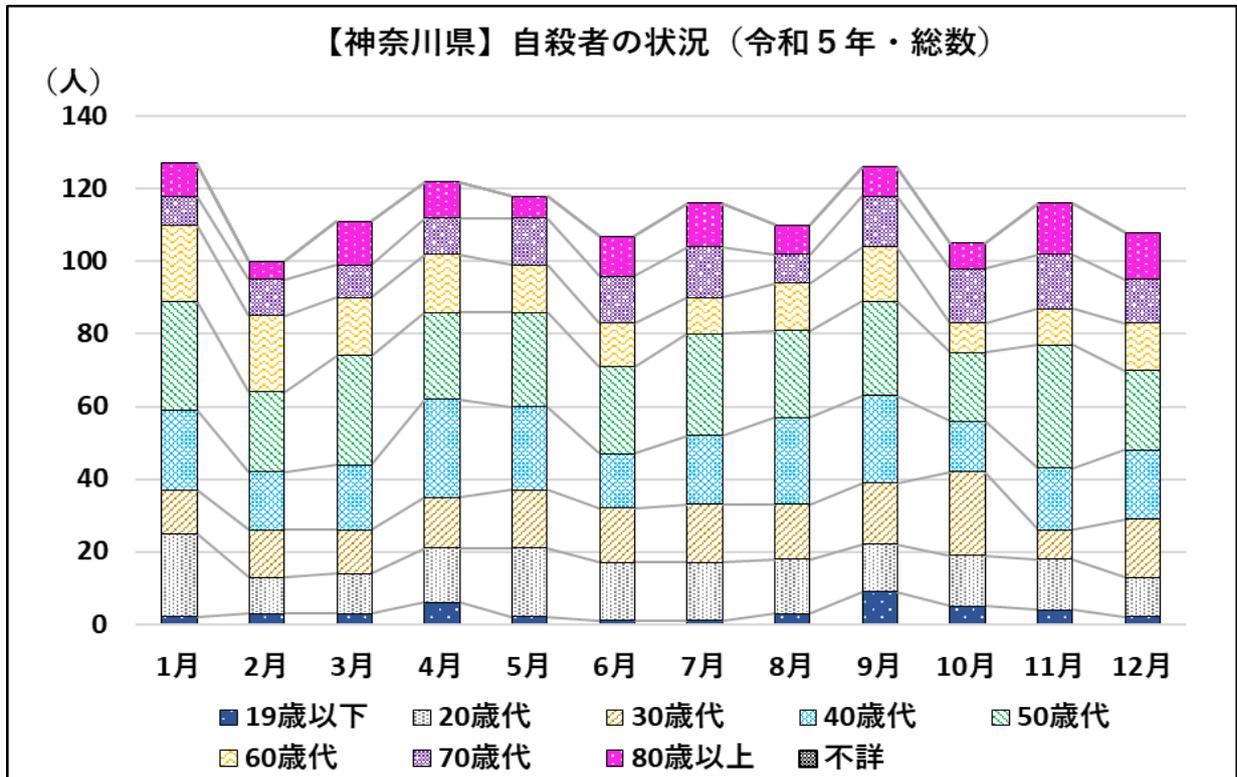


図3-6

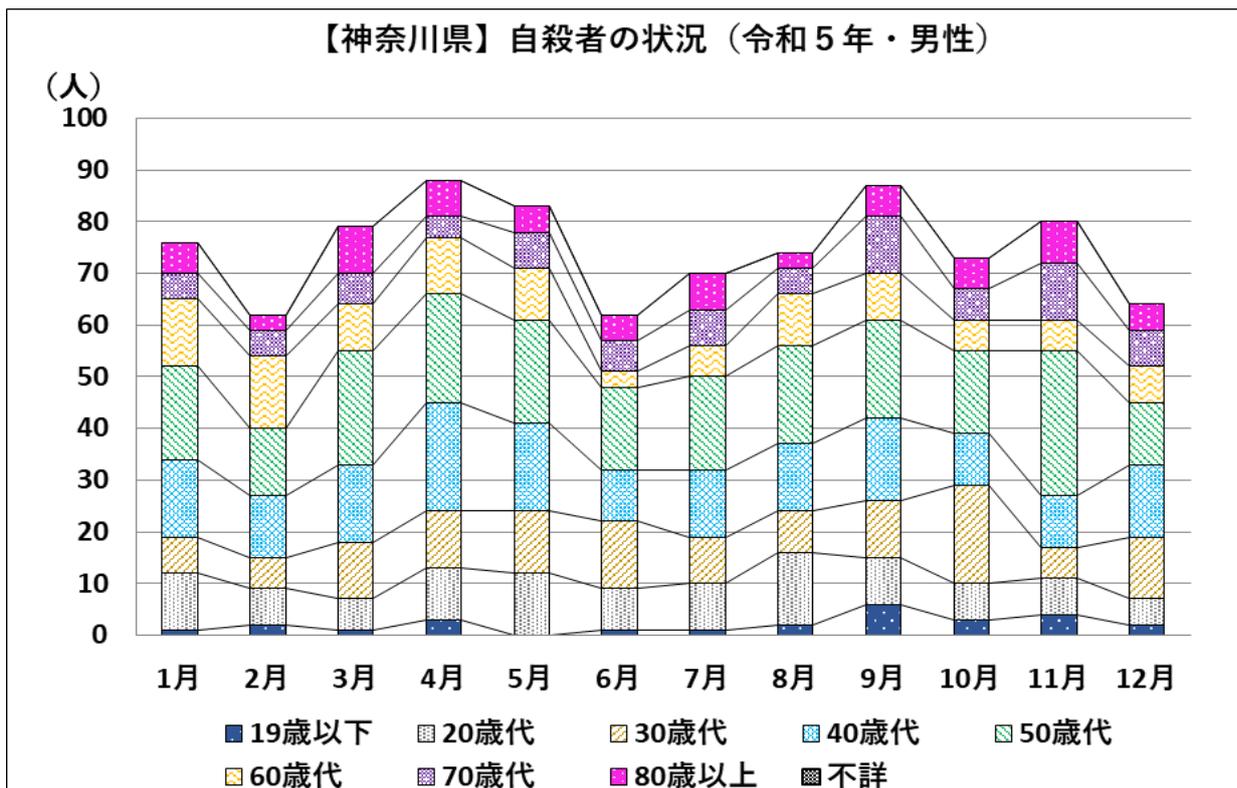
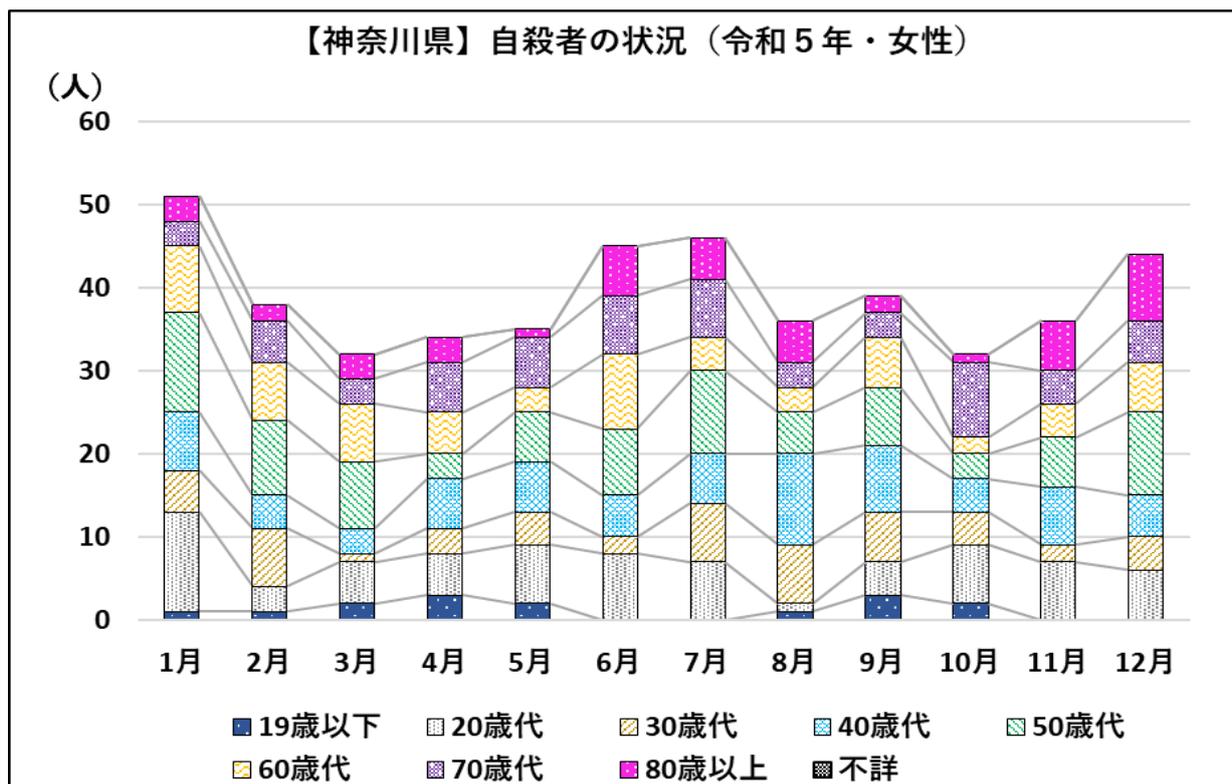


図3-7

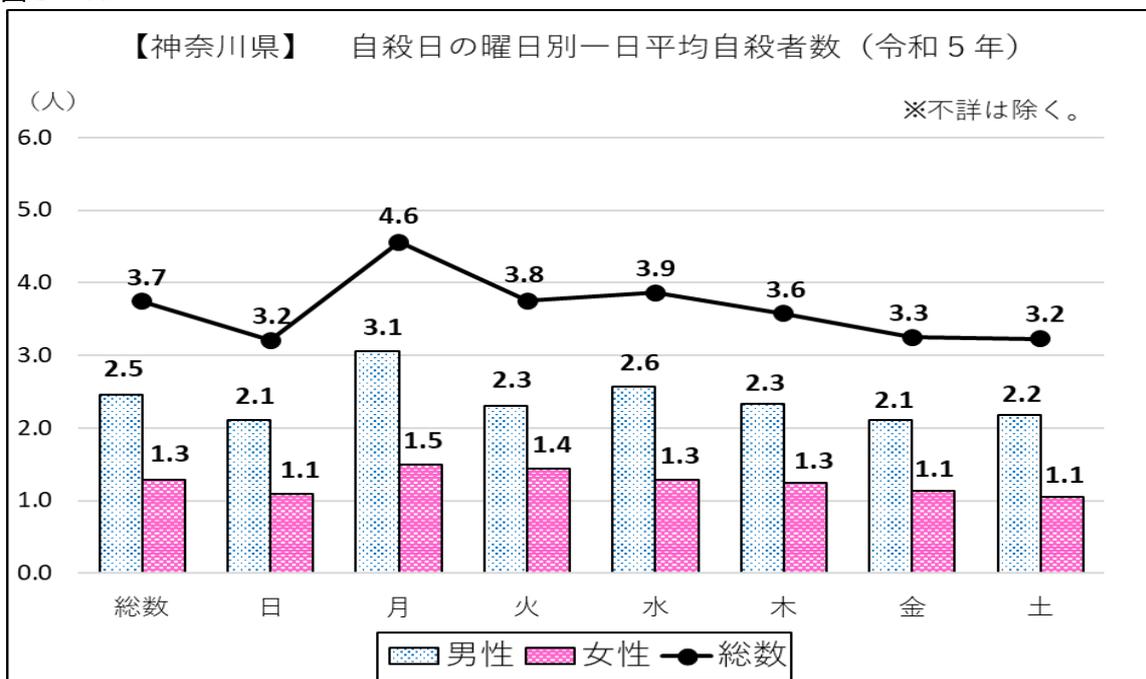


(3) 曜日別の状況

曜日別の一平均自殺者数の状況を見ると、全国、本県とも、男性は「月曜日」が最も多いが、他の曜日については大きな増減はない。女性は、曜日別で大きな増減はない。

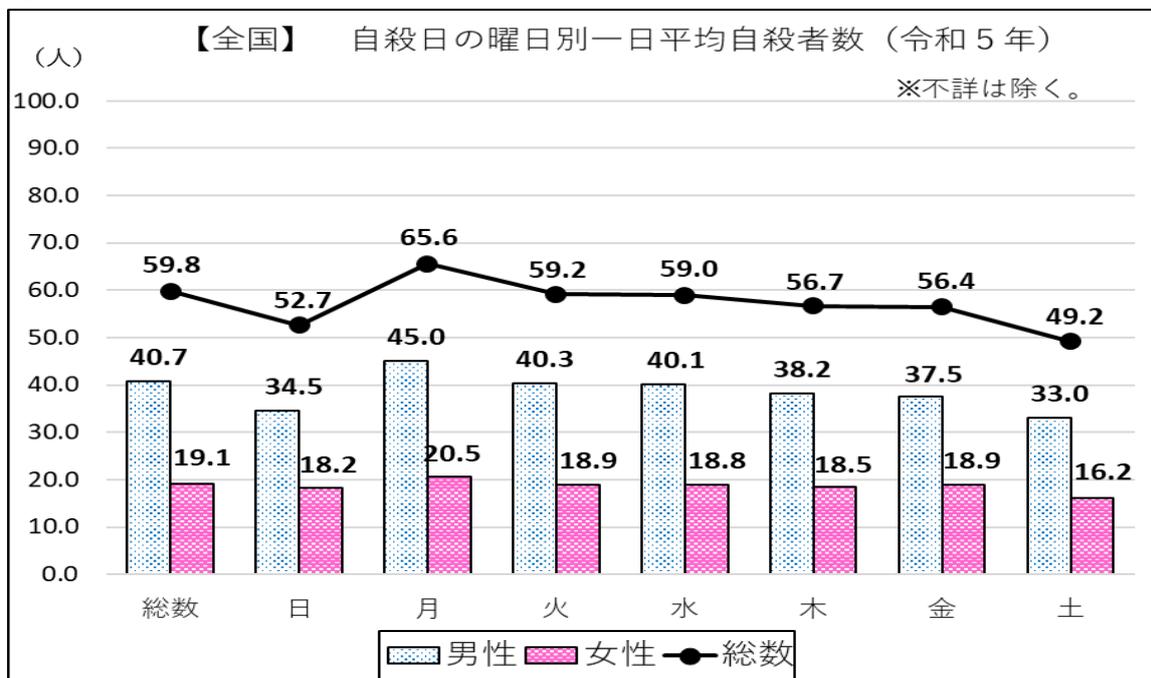
日曜日、土曜日については、全国、本県とも、少なくなっている。

図3-11



- ※ 「曜日別」については、比較する全国データが「自殺日」に基づいて集計しているため、神奈川県についても「発見日」ではなく、「自殺日」に基づいて集計した。
- ※ 各平均自殺者数は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。
- ※ 「総数」は曜日不詳を含む自殺者数の一日平均自殺者数となっている。

図3-12

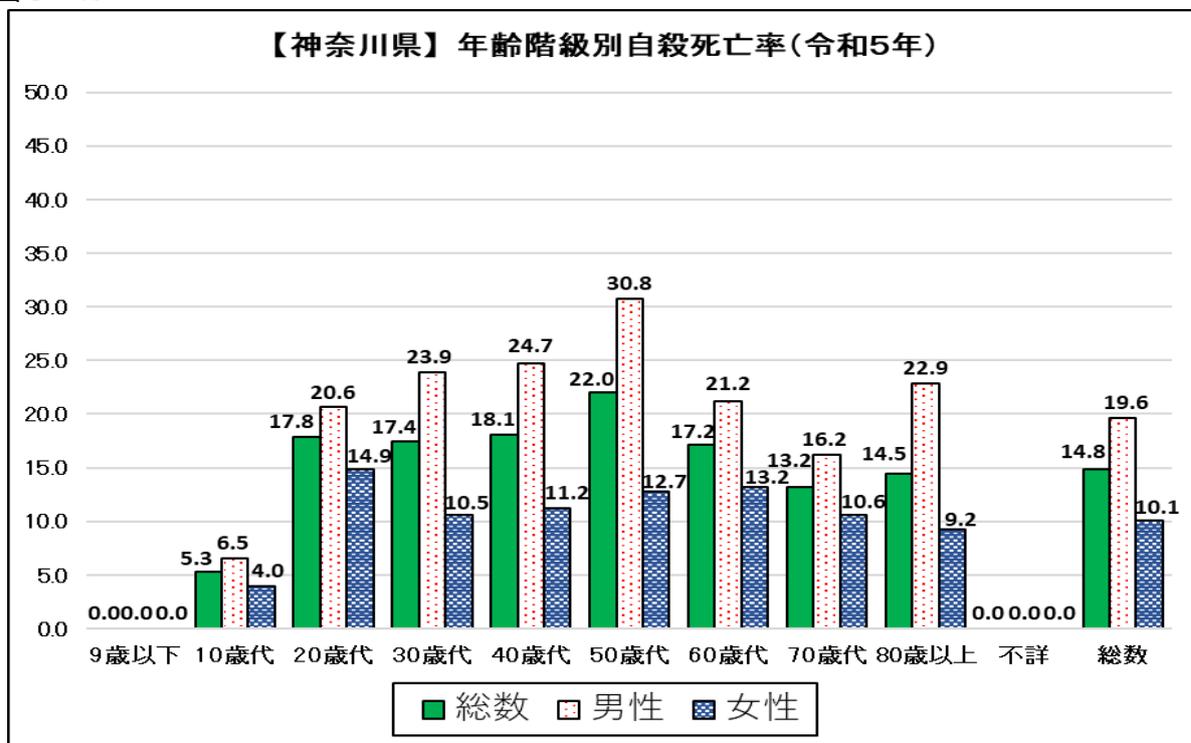


- ※ 「曜日別」については、比較する全国データが「自殺日」に基づいて集計しているため、神奈川県についても「発見日」ではなく、「自殺日」に基づいて集計した。
- ※ 各平均自殺者数は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。
- ※ 「総数」は曜日不詳を含む自殺者数の一日平均自殺者数となっている。

(4) 年齢階級別自殺死亡率の状況

本県の令和5年における年齢階級別の自殺死亡率を見ると、男性は「50歳代」が最も多く、次いで「40歳代」、「30歳代」の順となっており、女性は「20歳代」、「60歳代」、「50歳代」の順となっている。

図3-13



※ 自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数を表す（自殺者数÷人口×100,000人）。

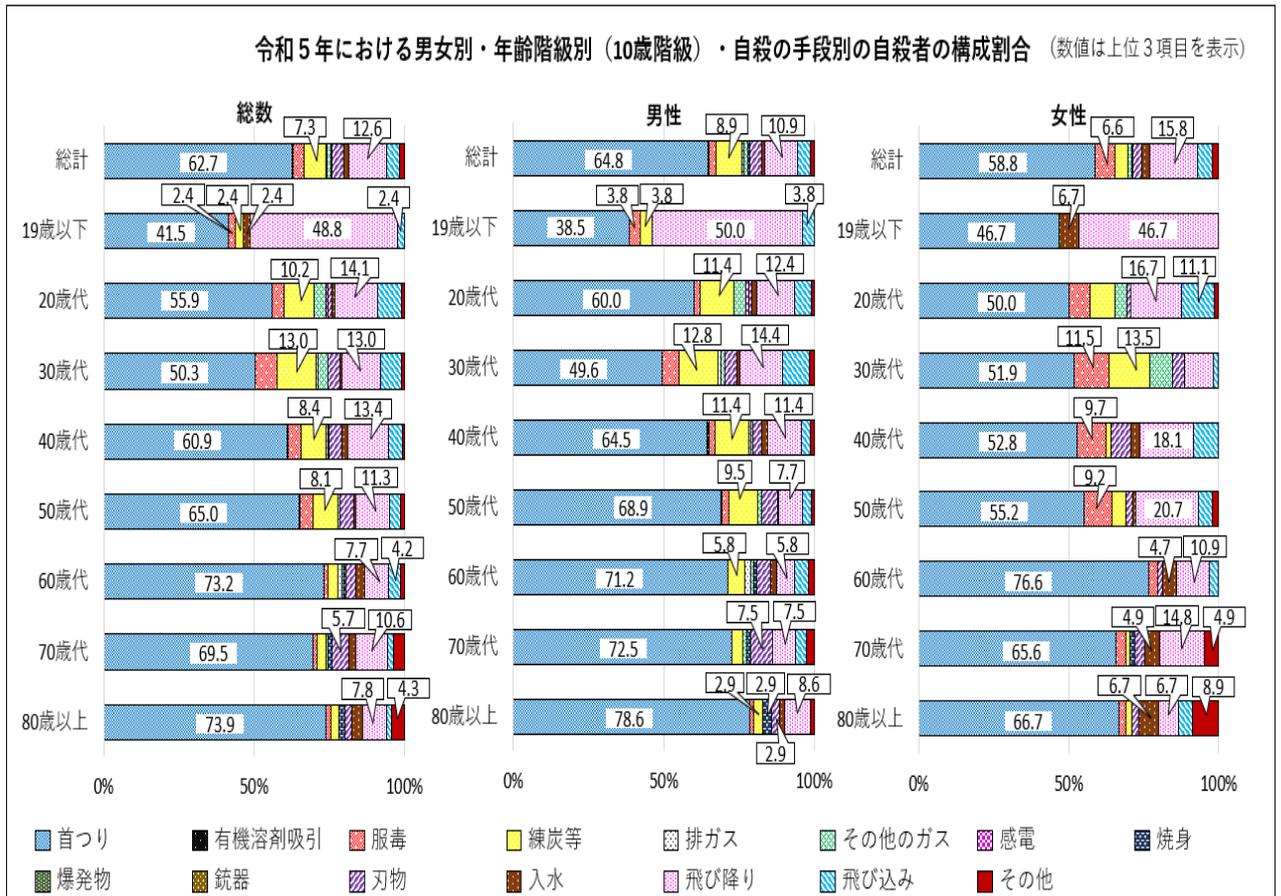
※ 各年齢階級別の人口は、神奈川県年齢別人口統計調査（該当年1月1日現在）に基づく。

(5) 男女別・年齢階級別・自殺の手段別の状況

本県の令和5年における男女別・年齢階級別・自殺の手段別の構成割合をみると、男女ともにすべての年齢階級において「首つり」が最も多く、次いで「飛び降り」、次に男性は「練炭等」、女性は「服毒」の順となっている。

年齢階級別に見ると、「19歳以下」は、男女とも、「飛び降り」の割合が他の手段と比較して多くなっている。

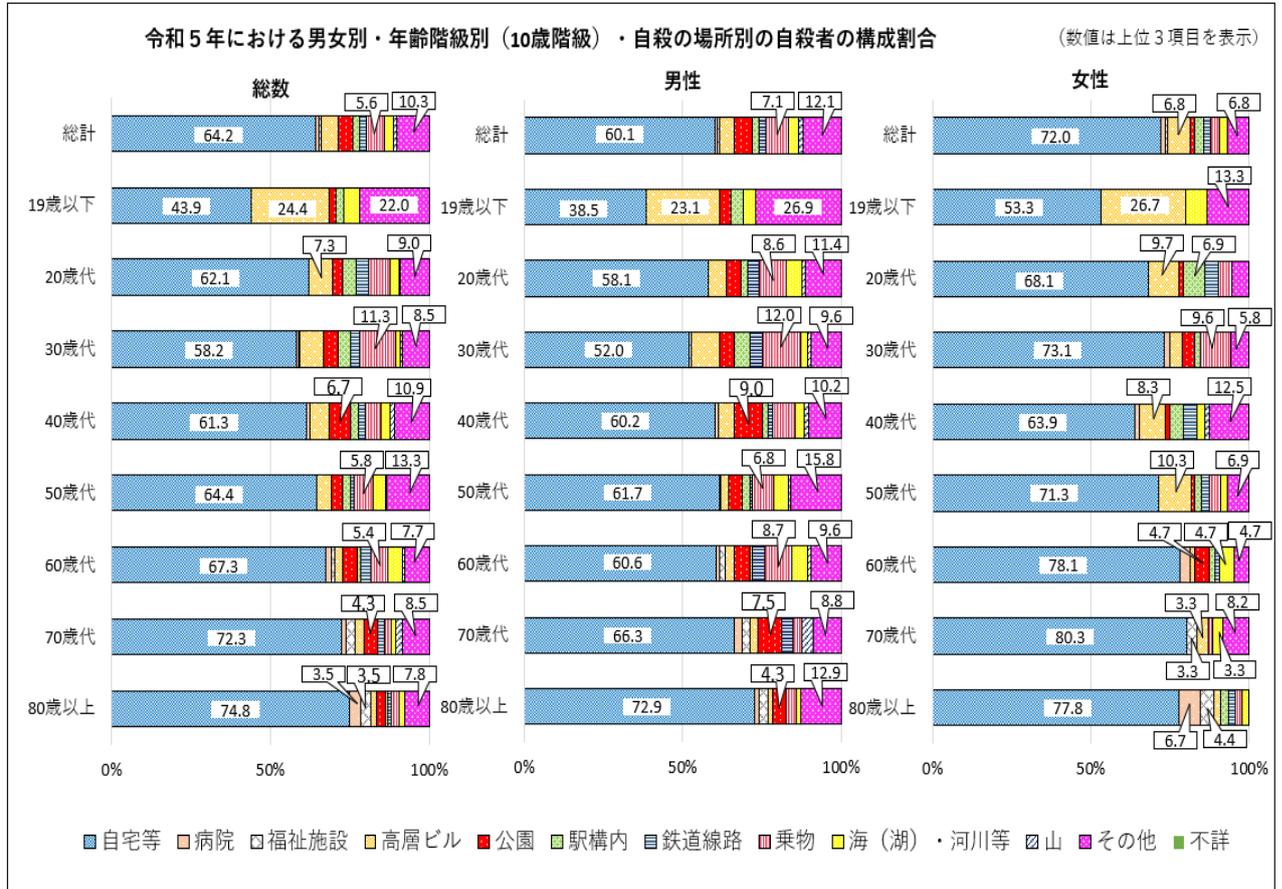
図3-14



(6) 男女別・年齢階級別・自殺の場所別の状況

本県の令和5年における男女別・年齢階級別・自殺の場所別の構成割合をみると、男女ともすべての年齢階級において「自宅」が最も多い。男性では、「自宅」に次いで「その他」、「乗り物」の順となっており、女性では、「自宅」に次いで「その他」及び「高層ビル」の順となっている。

図3-15



(7) 年齢階級別、職業別の状況

本県の職業別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」が最も多い。令和4年は、「有職者」549人、「無職者」656人であったことから、令和5年は、「有職者」が減少、「無職者」が増加している。また、「無職者」の内訳を見ると、「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次いで「その他の無職者」、「主婦」、「失業者」の順となっている。

さらに、職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」「有職者」とともに「50歳代」が最も多くなっている。また、「学生・生徒等」のうち、小学生から高校生が26人、学生・生徒全体では62人となっており、令和4年は、小学生から高校生が27人、学生・生徒全体で70人であったことから減少はしている。

「無職者」の内訳については、「年金・雇用保険等生活者」では「70歳代」が最も多いが、それ以外の内訳については、「50歳代」が最も多い。

なお、男女別の年齢階級別、職業別自殺者数の状況を見ると、男性では「50歳代の有職者」が最も多く、次いで「40歳代の有職者」、「30歳代の有職者」となっており、女性では「70歳代」の「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次いで「20歳代の有職者」、「50歳代的主婦」の順となっている。

表3-1

【神奈川県】年齢階級別、職業別自殺者数(令和5年)

年齢階級別 職業別		～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80歳	不詳	合計
		19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	79歳	～		
合計	計	41	177	177	238	309	168	141	115	0	1,366
	男	26	105	125	166	222	104	80	70	0	898
	女	15	72	52	72	87	64	61	45	0	468
有職者	計	1	86	96	124	152	53	9	6	0	527
	男	1	52	70	99	128	44	5	5	0	404
	女	0	34	26	25	24	9	4	1	0	123
学生・生徒等	計	35	27	0	0	0	0	0	0	0	62
	男	22	19	0	0	0	0	0	0	0	41
	女	13	8	0	0	0	0	0	0	0	21
小学生	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学生	計	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	男	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
高校生	計	19	0	0	0	0	0	0	0	0	19
	男	13	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	女	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
その他	計	9	27	0	0	0	0	0	0	0	36
	男	5	19	0	0	0	0	0	0	0	24
	女	4	8	0	0	0	0	0	0	0	12
無職者	計	4	60	74	107	145	112	131	107	0	740
	男	2	31	49	61	84	57	74	63	0	421
	女	2	29	25	46	61	55	57	44	0	319
主婦	計	0	3	4	21	33	28	14	7	0	110
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	3	4	21	33	28	14	7	0	110
失業者	計	0	12	17	27	29	11	0	0	0	96
	男	0	8	12	21	28	8	0	0	0	77
	女	0	4	5	6	1	3	0	0	0	19
年金・雇用 保険 等生活者	計	0	4	18	20	31	49	104	95	0	321
	男	0	3	14	9	18	33	64	59	0	200
	女	0	1	4	11	13	16	40	36	0	121
その他	計	4	41	35	39	52	24	13	5	0	213
	男	2	20	23	31	38	16	10	4	0	144
	女	2	21	12	8	14	8	3	1	0	69
不詳	計	1	4	7	7	12	3	1	2	0	37
	男	1	3	6	6	10	3	1	2	0	32
	女	0	1	1	1	2	0	0	0	0	5

注) 学生・生徒等の「その他」は、「大学生」、「専修学校生」及び「予備校生」を足し合わせたもの。

注) 無職者の「その他」は、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」「主夫」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

人、「無職者」11,775人であったことから、全国では「有職者」が増加、「無職者」が減少している。また、「無職者」の内訳を見ると、「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次いで「その他の無職者」、「失業者」、「主婦」、の順となっている。

年齢階級別、職業別自殺者数の状況を見ると、全国でも50歳代の「有職者」が最も多くなっており、ついで「70歳代」、「80歳以上」の「年金・雇用保険等生活者」となっている。

なお、全国の男女別の年齢階級別、職業別自殺者数の状況を見ると、男性では「50歳代の有職者」が最も多く、次いで「40歳代の有職者」、「70歳代の年金・雇用保険等生活者」となっている。女性では「80歳以上の年金・雇用保険等生活者」、「70歳代の年金・雇用保険等生活者」、「20歳代の有職者」の順となっている。

表3-2

【全国】年齢階級別、職業別自殺者数(令和5年)

年齢階級別 職業別		～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80歳	不詳	合計
		19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	79歳	～		
合計	計	810	2,521	2,587	3,625	4,194	2,798	2,901	2,370	31	21,837
	男	431	1,599	1,883	2,665	2,939	1,931	1,910	1,479	25	14,862
	女	379	922	704	960	1,255	867	991	891	6	6,975
有職者	計	95	1,377	1,579	2,089	2,158	1,021	428	111	0	8,858
	男	57	919	1,263	1,743	1,766	860	360	95	0	7,063
	女	38	458	316	346	392	161	68	16	0	1,795
学生・生徒等	計	629	382	7	0	1	0	0	0	0	1,019
	男	330	238	3	0	1	0	0	0	0	572
	女	299	144	4	0	0	0	0	0	0	447
無職者	計	82	706	930	1,436	1,915	1,708	2,438	2,251	0	11,466
	男	43	409	560	832	1,071	1,012	1,522	1,378	0	6,827
	女	39	297	370	604	844	696	916	873	0	4,639
主婦	計	0	29	94	200	333	223	113	48	0	1,040
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	29	94	200	333	223	113	48	0	1,040
失業者	計	5	135	205	286	336	138	31	5	0	1,141
	男	3	89	161	224	273	117	29	5	0	901
	女	2	46	44	62	63	21	2	0	0	240
年金・雇用 保険 等生活者	計	4	74	155	260	379	898	2,015	2,012	0	5,797
	男	0	40	81	143	229	582	1,291	1,258	0	3,624
	女	4	34	74	117	150	316	724	754	0	2,173
その他	計	73	468	476	690	867	449	279	186	0	3,488
	男	40	280	318	465	569	313	202	115	0	2,302
	女	33	188	158	225	298	136	77	71	0	1,186
不詳	計	4	56	71	100	120	69	35	8	31	494
	男	1	33	57	90	101	59	28	6	25	400
	女	3	23	14	10	19	10	7	2	6	94

注) 学生・生徒等の「その他」は、「大学生」、「専修学校生」及び「予備校生」を足し合わせたもの。

注) 無職者の「その他」は、「主夫」「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」等を足し合わせたもの。

(8) 年齢階級別、原因・動機別の状況

原因・動機別の自殺者数の状況を見ると、「健康問題」が最も多く、次いで「経済・生活問題」、「家庭問題」、「勤務問題」、「その他」、「交際問題」、「学校問題」の順となっている。前年度に比べて、特に「30歳代」、「50歳代」で「経済・生活問題」が増えている。

表3-3

【神奈川県】年齢階級別、原因・動機別自殺者数(令和5年)

年齢階級別 原因・動機別		～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80歳	不詳	合計
		19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	79歳	～		
合計	計	47	240	253	339	432	240	178	154	0	1,883
	男	31	143	177	240	309	150	100	93	0	1,243
	女	16	97	76	99	123	90	78	61	0	640
家庭問題	計	7	26	44	65	78	43	35	35	0	333
	男	5	10	31	34	47	25	17	15	0	184
	女	2	16	13	31	31	18	18	20	0	149
健康問題	計	13	77	83	110	152	103	112	102	0	752
	男	5	34	50	65	88	50	59	65	0	416
	女	8	43	33	45	64	53	53	37	0	336
経済・生活問題	計	2	40	53	71	131	60	23	8	0	388
	男	2	32	44	64	120	48	19	6	0	335
	女	0	8	9	7	11	12	4	2	0	53
勤務問題	計	1	34	36	71	45	16	0	1	0	204
	男	1	24	29	64	38	16	0	1	0	173
	女	0	10	7	7	7	0	0	0	0	31
交際問題	計	1	17	17	5	3	1	1	0	0	45
	男	0	9	11	3	0	1	1	0	0	25
	女	1	8	6	2	3	0	0	0	0	20
学校問題	計	17	19	0	0	0	0	0	0	0	36
	男	12	14	0	0	0	0	0	0	0	26
	女	5	5	0	0	0	0	0	0	0	10
その他	計	6	27	20	17	23	17	7	8	0	125
	男	6	20	12	10	16	10	4	6	0	84
	女	0	7	8	7	7	7	3	2	0	41

※「原因・動機」は、家族等の証言から考える場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

全国の状況も、多い順から「健康問題」、「経済・生活問題」、「家庭問題」、「勤務問題」、「その他」、「交際問題」、「学校問題」となっている。神奈川県と全国は総じて同じような傾向である。

表3-4

【全国】年齢階級別、原因・動機別自殺者数(令和5年)

原因・動機別		年齢階級別									合計
		～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	不詳	
合計	計	981	3,184	3,428	4,849	5,656	3,634	3,656	2,954	2	28,344
	男	520	1,987	2,487	3,559	3,973	2,456	2,392	1,804	2	19,180
	女	461	1,197	941	1,290	1,683	1,178	1,264	1,150	0	9,164
家庭問題	計	155	358	574	891	1,000	547	599	584	0	4,708
	男	82	196	377	580	605	315	369	353	0	2,877
	女	73	162	197	311	395	232	230	231	0	1,831
健康問題	計	263	1,005	1,130	1,682	2,179	1,783	2,310	2,051	0	12,403
	男	103	473	673	1,008	1,235	1,036	1,440	1,256	0	7,224
	女	160	532	457	674	944	747	870	795	0	5,179
経済・生活問題	計	32	531	771	1,122	1,338	848	434	103	2	5,181
	男	19	427	689	1,016	1,194	736	360	65	2	4,508
	女	13	104	82	106	144	112	74	38	0	673
勤務問題	計	29	491	547	765	735	229	69	10	0	2,875
	男	23	380	460	666	649	200	64	9	0	2,451
	女	6	111	87	99	86	29	5	1	0	424
交際問題	計	70	358	187	133	82	27	15	5	0	877
	男	29	206	126	90	48	24	8	5	0	536
	女	41	152	61	43	34	3	7	0	0	341
学校問題	計	326	195	3	0	0	0	0	0	0	524
	男	201	137	2	0	0	0	0	0	0	340
	女	125	58	1	0	0	0	0	0	0	184
その他	計	106	246	216	256	322	200	229	201	0	1,776
	男	63	168	160	199	242	145	151	116	0	1,244
	女	43	78	56	57	80	55	78	85	0	532

※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

(9) 職業別、原因・動機別の状況

職業別に最も多い原因・動機別の状況を見ると、「有職者」は「健康問題」、「学生・生徒等」は「学校問題」、「無職者」は「健康問題」となっている。

さらに男女別で見ると、「有職者」では男性は「経済・生活問題」、女性は「健康問題」が最も多い。加えて「学生・生徒等」では男性は「学校問題」、女性は「健康問題」が多くなっている。「無職者」では男女ともに「健康問題」が最も多くなっている。

表3-5

【神奈川県】 職業別、原因・動機別自殺者数(令和5年)

原因・動機別		職業別		無職					不詳	合計
				有職者	学生・生徒等	無職者	主婦	失業者		
		計	男							
合計	計	754	79	1,013	147	159	419	288	37	1,883
	男	577	53	582	0	129	258	195	31	1,243
	女	177	26	431	147	30	161	93	6	640
家庭問題	計	127	10	192	43	23	78	48	4	333
	男	85	7	90	0	19	39	32	2	184
	女	42	3	102	43	4	39	16	2	149
健康問題	計	195	20	529	88	44	270	127	8	752
	男	126	9	275	0	33	164	78	6	416
	女	69	11	254	88	11	106	49	2	336
経済・生活問題	計	177	3	186	7	68	45	66	22	388
	男	163	3	148	0	56	36	56	21	335
	女	14	0	38	7	12	9	10	1	53
勤務問題	計	179	0	25	0	18	0	7	0	204
	男	151	0	22	0	16	0	6	0	173
	女	28	0	3	0	2	0	1	0	31
交際問題	計	29	4	12	0	1	1	10	0	45
	男	17	2	6	0	1	1	4	0	25
	女	12	2	6	0	0	0	6	0	20
学校問題	計	0	35	1	0	0	0	1	0	36
	男	0	25	1	0	0	0	1	0	26
	女	0	10	0	0	0	0	0	0	10
その他	計	47	7	68	9	5	25	29	3	125
	男	35	7	40	0	4	18	18	2	84
	女	12	0	28	9	1	7	11	1	41

※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

※ 無職者のうち、「その他」は、「主夫」、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

全国の状況は本県とほぼ同様である。

表 3 - 6

【全国】職業別、原因・動機別自殺者数(令和5年)

原因・動機別	職業別	無職							不詳	合計
		有職者	学生・生徒等	無職者						
				主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他			
合計	計	11,954	1,241	14,779	1,358	1,688	7,460	4,273	370	28,344
	男	9,506	692	8,696	0	1,335	4,590	2,771	286	19,180
	女	2,448	549	6,083	1,358	353	2,870	1,502	84	9,164
家庭問題	計	1,989	155	2,520	382	201	1,253	684	44	4,708
	男	1,495	82	1,270	0	147	734	389	30	2,877
	女	494	73	1,250	382	54	519	295	14	1,831
健康問題	計	3,380	315	8,597	857	528	5,028	2,184	111	12,403
	男	2,322	142	4,693	0	374	3,044	1,275	67	7,224
	女	1,058	173	3,904	857	154	1,984	909	44	5,179
経済・生活問題	計	2,794	53	2,186	60	651	626	849	148	5,181
	男	2,561	31	1,781	0	576	472	733	135	4,508
	女	233	22	405	60	75	154	116	13	673
勤務問題	計	2,553	9	303	7	175	30	91	10	2,875
	男	2,207	6	229	0	138	22	69	9	2,451
	女	346	3	74	7	37	8	22	1	424
交際問題	計	566	88	207	9	46	47	105	16	877
	男	372	37	117	0	32	27	58	10	536
	女	194	51	90	9	14	20	47	6	341
学校問題	計	2	505	17	0	0	0	17	0	524
	男	1	324	15	0	0	0	15	0	340
	女	1	181	2	0	0	0	2	0	184
その他	計	670	116	949	43	87	476	343	41	1,776
	男	548	70	591	0	68	291	232	35	1,244
	女	122	46	358	43	19	185	111	6	532

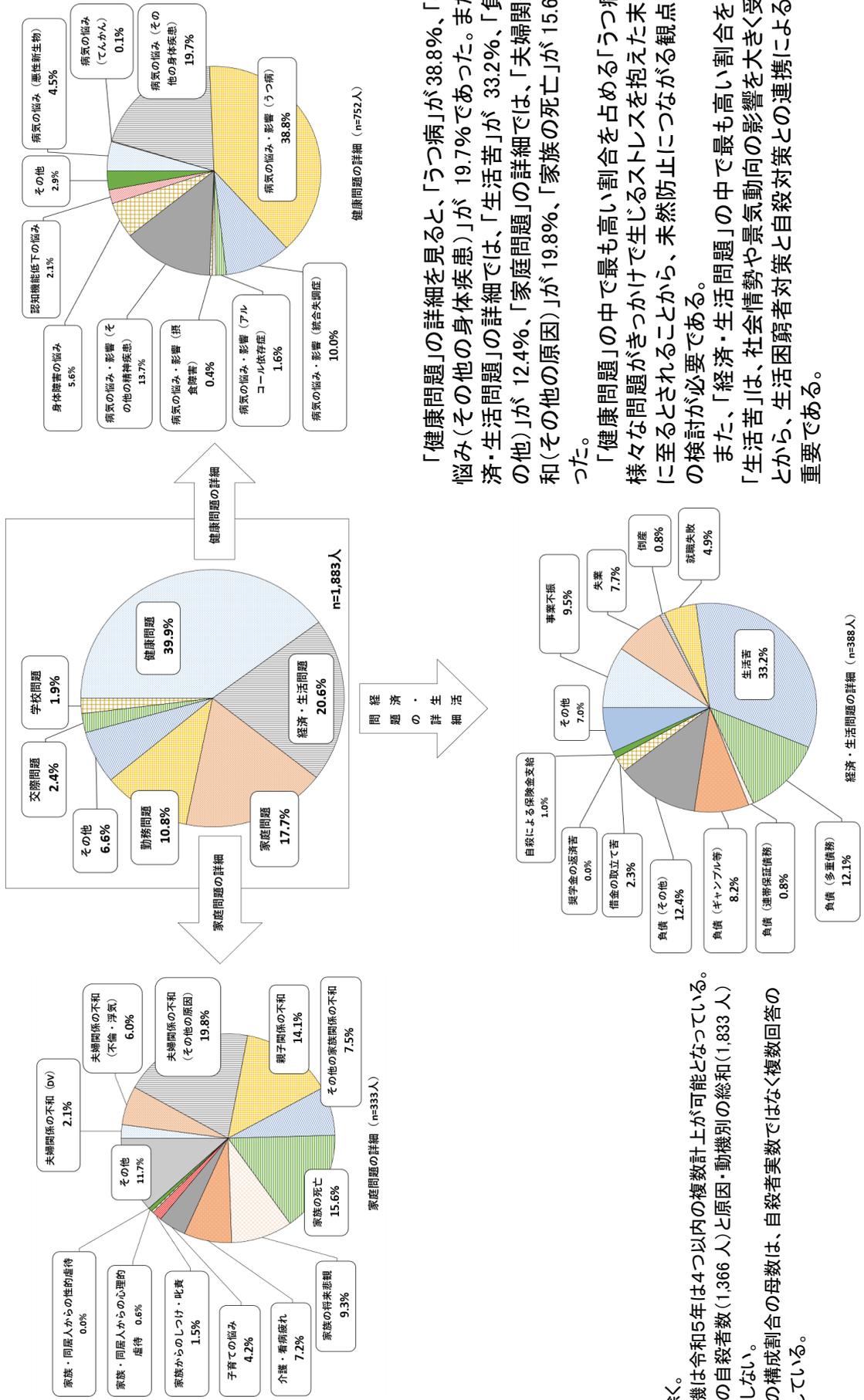
※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

※ 無職者のうち、「その他」は、「主夫」、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

(10) 原因・動機別内訳

自殺の多くは多様かつ複合的な原因や背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きています。原因・動機別の自殺者数の状況については、最大4つまで計上されたものが公表されており、令和5年の原因・動機が特定できた延べ件数 1,833 件の内訳を分析したところ、「健康問題」が 39.9%を占め、次いで「経済・生活問題」が 20.6%、「家庭問題」が 17.7%、「生活問題」が 12.4%、「生活問題」が 17.7%であった。

図 3-16 【神奈川県】原因・動機別自殺者数（令和5年）



※不詳は除く。
 ※原因・動機は令和5年は4つ以内の複数計上が可能となっている。
 ※令和5年の自殺者数(1,366人)と原因・動機別の総和(1,833人)とは一致しない。
 ※各グラフの構成割合の母数は、自殺者実数ではなく複数回答の和(n)としている。

「健康問題」の詳細を見ると、「うつ病」が 38.8%、「病気の悩み(その他の身体疾患)」が 19.7%であった。また、「経済・生活問題」の詳細では、「生活苦」が 33.2%、「負債(その他)」が 12.4%、「家庭問題」の詳細では、「夫婦関係の不和(その他の原因)」が 19.8%、「家族の死亡」が 15.6%であった。

「健康問題」の中で最も高い割合を占める「うつ病」は、様々な問題がきっかけで生じるストレスを抱えた末に発症に至るとされることがから、未然防止につながる観点で取組の検討が必要である。

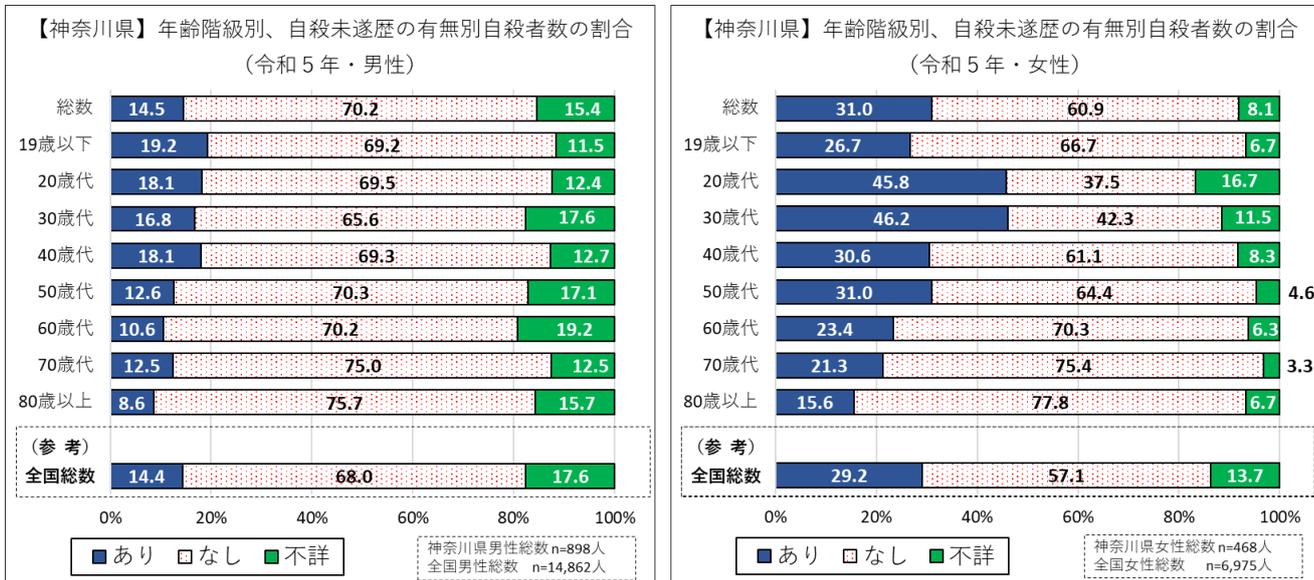
また、「経済・生活問題」の中で最も高い割合を占める「生活苦」は、社会情勢や景気動向の影響を大きく受けることから、生活困窮者対策と自殺対策との連携による取組も重要である。

(11) 年齢階級別、自殺未遂歴の状況

自殺未遂歴の年齢階級別の状況を見ると、男女別の割合では、すべての年齢階級で自殺未遂歴「あり」は女性が多くなっている。また、女性の中では前年度は「19歳以下」「20歳代」が多かったが、令和5年度は「20歳代」「30歳代」が多くなっており、半数に近い割合で自殺未遂歴があることがわかる。

男性は前年に比べ、「30歳代」「50歳代」「60歳代」「80歳以上」以外の年代で自殺未遂歴の割合が増えている。

図3-17



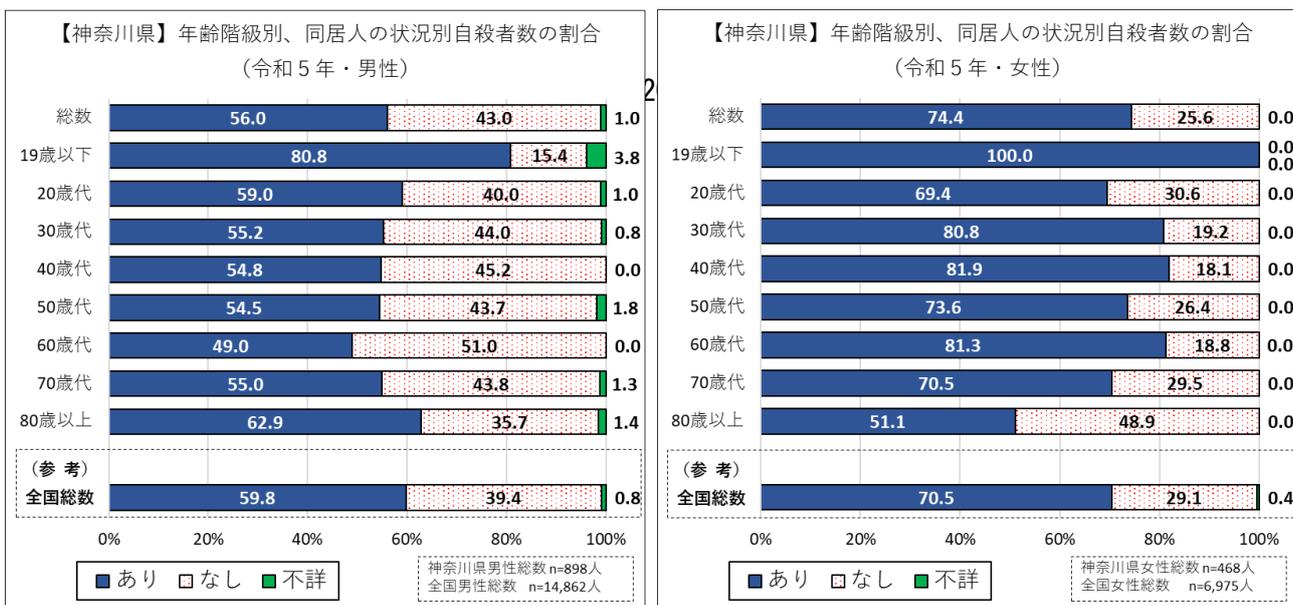
※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

(12) 同居人の状況

同居人の状況を年齢階級別で見ると、男女ともにほぼ全ての年齢階級において、同居人「あり」が多い。

総数の状況を全国と比べてみると、本県においては、男性は同居人「なし」が、女性は同居人「あり」の割合が若干多くなっている。

図3-19



※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。